

法学部

法学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー ▶

法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通 ▶

- 📄 1. 履修計画について
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 学科科目C群の取扱いについて
- 📄 4. 選択演習・必修演習について
- 📄 5. 早期卒業制度について
- 📄 6. コースAQUILAについて
- 📄 7. 地球環境法特修コース認定について
- 📄 8. 海外短期研修科目について
- 📄 9. 基礎演習Aについて
- 📄 10. 高度専門演習について
- 📄 11. 法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B（法曹コース）について
- 📄 12. 法曹コースについて（2019年次生以降対象）

法律学科 ▶

- 📄 法律学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 開講科目担当表

国際関係法学科 ▶

- 📄 国際関係法学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 開講科目担当表

地球環境法学科 ▶

- 📄 地球環境法学科について
- 📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準
- 📄 2. 標準配当表
- 📄 3. 開講科目担当表

法学部の教育研究上の目的、人材養成の目的、3つのポリシー

〔教育研究上の目的〕

法律学及びその関連科目を広く学ぶことを通じて、社会に生起するさまざまな問題について法的に考える力を養うこと

〔人材養成の目的〕

現代社会に対応できるような法的思考能力や問題分析能力を有し、かつ国内だけでなく国際社会でも活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学部では、法的な基本知識や思考枠組とともに、広い視野と柔軟な思考をもって、主体的に問題の分析や解決にあたるような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を各学科で定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学部では、ディプロマ・ポリシーに沿って、次の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 法的な基本知識や思考枠組を修得し、広い視野と柔軟な思考をもって問題の分析や解決にあたることができるよう、法律基本科目を基礎に置きながら、その発展的・先端的な法律科目を配置するとともに、政治学・経済学・国際関係論といった隣接科目を揃え、学科横断的に学ぶ。
2. 問題意識と学問的な関心をもって、より主体的に、かつ、掘り下げた議論ができるよう、少人数制のゼミナール形式の演習を設ける。

- 📄 1. 履修計画について
- 📄 2. 履修上の注意
- 📄 3. 学科科目C群の取扱いについて
- 📄 4. 選択演習・必修演習について
- 📄 5. 早期卒業制度について
- 📄 6. コースAQUILAについて
- 📄 7. 地球環境法特修コース認定について
- 📄 8. 海外短期研修科目について
- 📄 9. 基礎演習Aについて
- 📄 10. 高度専門演習について
- 📄 11. 法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B（法曹コース）について
- 📄 12. 法曹コースについて（2019年次生以降対象）

1. 履修計画について

- この履修モデル案は、履修科目の選択に際して参考とすべきおおよそのガイドラインを示すものである。
- 卒業に要する科目のうち、3学科共通の必修科目 {法学入門、導入演習、憲法（基本的人権）、憲法（統治機構）、民法総則Ⅰ（自然人、物、法律行為）、民法総則Ⅱ（代理、法人、期間、時効）、必修演習} は記載していない。また、学科によって必修科目とされているもの（英語導入演習、債権法各論Ⅰ（契約）、債権法各論Ⅱ（事務管理、不当利得、不法行為）、刑法総論、国際法総論、行政法総論、環境法入門、環境法総論、環境法各論）については*記号を付けている。所属する学科に応じて、必修科目、選択必修科目、選択科目の別を確認されたい。なお、*印の科目は、他学部他学科科目Ⅰ（[3. 学科科目C群の取扱いについて] の項を参照）で、法学部学科科目C群（選択科目）として認められているものである。科目の性質上、全学共通科目または語学科目で法学部学科科目C群（選択科目）として認められるものについては掲記していない。
- この履修モデル案は、法学部の学生が興味を抱くような領域に応じて区分している。複数の興味を抱いている場合には、それらを組み合わせて考えてみるとよい。
- 履修計画は、基本的には、所定の履修年次に沿って立てることが望ましいが、年度毎の開講科目、授業時間割によっては、必ずしも履修モデル案どおりに履修できるわけではないことに留意されたい。

法曹に興味がある

2019年次生以降は法曹コース（[12. 法曹コースについて（2019年次生以降対象）] の項を参照）に登録のうえ、同コースの指定科目・推奨科目を中心に計画的な履修を行うこと。下記の表は、法曹コース以外の一般的な例示である。

1年次	2年次～	3年次～
	*刑法総論、*行政法総論、物権法、担保物権法、債権法総論Ⅰ・Ⅱ、*債権法各論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論、法実務入門、刑法特殊講義Ⅱ・Ⅲ、刑事司法概論	行政救済法、親族法、相続法、会社法Ⅰ・Ⅱ、手形・小切手法、民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、刑事訴訟法、商取引法、憲法訴訟、司法試験選択科目とされているもの（労働法Ⅰ・Ⅱ、経済法、租税法、倒産処理法、知的財産権法Ⅰ・Ⅱ、*環境法総論、環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ、*国際法総論、国際法各論、国際私法Ⅰ・Ⅱ、国際取引法総論、国際取引法各論）のうちから少なくとも1～2科目

行政に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
*ミクロ経済学A・B *マクロ経済学A	*刑法総論、*行政法総論、行政救済法、物権法、債権法総論Ⅰ・Ⅱ、*債権法各論Ⅰ・Ⅱ、刑法各論、現代日本政治論、エネルギーと法、政治学、法律学特殊講義Ⅴ（公法） *国際経済学1・2、*マクロ経済学B、*ミクロ経済学C	現代行政学、社会保障法Ⅰ・Ⅱ、労働法Ⅰ・Ⅱ、地方自治法、租税法、規制と政治、法律学特殊講義Ⅰ（立法過程の実務と理論） *マスコミ倫理法制論Ⅰ・Ⅱ

国際関係に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	*国際法総論、国際政治学、国際法各論、現代国際関係論、 *国際政治史1・2 *INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	国際紛争処理法、EUROPEAN UNION LAWⅠ・Ⅱ、国際組織法、国際関係特殊講義（外交と国際法）、国際関係特殊講義（日中関係の歴史と展望）、HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT

環境に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
＊環境法入門 ＊環境法総論	＊環境法各論、＊行政法総論、＊債権法各論I・II、＊刑法総論、環境訴訟法I・II、行政救済法、比較環境法、エネルギーと法、環境社会学 ＊南アジア社会経済論	国際環境法、自治体環境法、自然保護法、ヨーロッパ環境法、アジア環境法 地球温暖化と法、環境刑法、企業環境法、廃棄物・リサイクル法、規制と政治、まちづくりと法、企業環境マネジメント論、環境問題特殊講義（企業活動と環境法コンプライアンス）、環境法特殊講義（環境訴訟の展開）、アメリカ環境法

経済活動に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
＊ミクロ経済学A・B ＊マクロ経済学A	物権法、担保物権法、債権法総論I・II、＊債権法各論I・II、INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW、 ＊マクロ経済学B、＊国際経済学1・2、＊アジアとグローバル企業、＊ミクロ経済学C、＊NEGOTIATION WORKSHOP	会社法I・II、手形・小切手法、民事訴訟法I・II、商取引法、保険法、海商法、租税法、経済法、知的財産権法I・II、消費者法、国際取引法総論、国際取引法各論、国際租税法、国際経済法、法律学特殊講義II（信託法）、法律学特殊講義IV（金融商品取引法）、CORPORATIONS

法律の基礎理論に興味がある

1年次	2年次～	3年次～
	法律学特殊講義III（法思想史）、LAW AND SOCIETY、INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	法哲学、英米法I・II、比較法I・II、ドイツ法Ia・Ib・II フランス法、EUROPEAN UNION LAW I・II、アジア法、西洋法制史、JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE I・II、高度専門演習（生命倫理と法）

政治・国際政治に興味がある


1年次	2年次～	3年次～
	政治学、国際政治学、法律学特殊講義III（法思想史）、JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES、 ＊国際政治史1・2、＊JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS、＊国際協力論1・2、＊グローバル化と文化1・2	現代行政学、法哲学、規制と政治、比較憲法、国際関係特殊講義（日中関係の歴史と展望）、INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY、HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT、比較政治論、高度専門演習（政治経済学）、COMPARATIVE POLITICS、INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER

2. 履修上の注意

①最高履修限度

履修登録単位数は各年次・学期において次のとおり制限されているので、これを超えて履修登録することはできない。また、春・秋各学期の履修登録単位数が上限以内であっても、両学期の履修登録単位数の合計が年間上限を上回ることはできない。

1年次 (春)	1年次 (秋)	1年次 (年間)	2年次 (春)	2年次 (秋)	2年次 (年間)	3年次 (春)	3年次 (秋)	3年次 (年間)	4年次 (春)	4年次 (秋)	4年次 (年間)	合計
26	26	48	26	26	48	26	26	48	26	26	48	192

 春：春学期・1Q・2Q科目
秋：秋学期・3Q・4Q科目

なお、学期・年間別最高履修限度を超えて登録しなければならない場合は、事前に学科長に願い出ること。卒業にかかわるなど、特に理由がある場合には、審査のうえ、上記限度を超えた僅かな単位数の登録を認めることがある。なお、最高履修限度を超える科目の履修が認められるのは、ごく例外的な場合に限られる点に留意されたい。

②選択必修科目（B群）について

選択必修科目（B群）の単位を、卒業に必要な20単位を超過して修得した場合には、選択科目（C群）に算入される。

③他学部・他学科科目について

開講科目担当表に記載されていない他学部・他学科の学科科目を履修しても、卒業に必要な単位としては認められない。選択科目として取り扱われる科目については、[3. 学科科目C群の取扱いについて]の項を参照すること。

④新旧科目の対応について

下記の一覧にある科目は変更前と変更後のものについて同一科目とみなすので、変更前の科目を修得済みの者は変更後の科目を履修することはできない。

④下記の科目は変更前と変更後のものについて同一科目とみなすので、変更前の科目を修得済みの者は変更後の科目を履修することはできない。

変更前			変更後		
科目コード	開講年度	科目名	科目コード	開講年度	科目名
336600	～2017	比較法（4単位）	→ 336602 336603	2018～	比較法Ⅰ（2単位） 比較法Ⅱ（2単位）
390381	～2017	LAW AND SOCIETYⅡ（2単位）	→ 390304	2018～	LAW AND SOCIETY（2単位）
390382	～2017	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ（2単位）	→ 390303	2018～	JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ（1単位）
311101	～2017	規制と法（2単位）	→ 311102	2018～	エネルギーと法（2単位）
390322	～2017	BUSINESS LAW SEMINAR	→ 390323	2018～	BUSINESS FUNDAMENTALS：ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE
336020	～2018	社会保障法（4単位）	→ 336021 336022	2019～	社会保障法Ⅰ（2単位） 社会保障法Ⅱ（2単位）
333610	～2018	フランス法（4単位）	→ 333611 333612	2019～	フランス法Ⅰ（2単位） フランス法Ⅱ（2単位）
332800	～2018	労働法（4単位）	→ 332801 332802	2019～	労働法Ⅰ（2単位） 労働法Ⅱ（2単位）
333410	～2018	英米法（4単位）	→ 333411 333412 333413 333414	2019～	英米法Ⅰa（1単位） 英米法Ⅰb（1単位） 英米法Ⅱa（1単位） 英米法Ⅱb（1単位）
333511	～2018	ドイツ法Ⅰ（2単位）	→ 333513 333514	2019～	ドイツ法Ⅰa（1単位） ドイツ法Ⅰb（1単位）
333305	～2018	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES	→ 333308 333309	2019～	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅠ（1単位） PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVESⅡ（1単位）
330334	～2019	債権法総論（4単位）	→ 330335 330336	2020～	債権法総論Ⅰ（2単位） 債権法総論Ⅱ（2単位）
361600	～2019	国際取引法（4単位）	→ 361601 361602	2020～	国際取引法総論（2単位） 国際取引法各論（2単位）
333411 333412	～2020	英米法Ⅰa（1単位） 英米法Ⅰb（1単位）	→ 333415	2021～	英米法Ⅰ（2単位）
333413 333414	～2020	英米法Ⅱa（1単位） 英米法Ⅱa（1単位）	→ 333416	2021～	英米法Ⅱ（2単位）
333611 333612	～2020	フランス法Ⅰ（2単位） フランス法Ⅱ（2単位）	→ 333613	2021～	フランス法（2単位）
336505	～2020	EU法（2単位）	→ 336506 336507	2021～	EU法Ⅰ（2単位） EU法Ⅱ（2単位）
347001 347002	～2021	選択演習Ⅰ（3単位） 選択演習Ⅱ（3単位）	→ 347005 347006	2020～	選択演習A（2単位） 選択演習B（2単位）
336506	～2022	EU法Ⅰ（2単位）	→ 366410	2023～	EUROPEAN UNION LAWⅠ（2単位）
336507	～2022	EU法Ⅱ（2単位）	→ 366420	2023～	EUROPEAN UNION LAWⅡ（2単位）

⑤学科科目としての外国語について

学科科目としての外国語については、履修要覧〔学部科目編〕一語学科目の項を参照すること。

⑥履修中止について

履修中止については履修要覧〔ガイド・資料編〕一Ⅱ. 教務一6. 履修中止の項を参照すること。なお、必修科目の履修中止は認められないが、法学部では「必修演習」に限り履修中止を認める。

⑦「導入演習」と「英語導入演習」について

「導入演習」については、所属クラスの指定されたAまたはBを履修すること。

「英語導入演習」は、プレイスメントテスト（4月実施）の結果によりA～Dのクラス分けをする。所属クラスは、秋学期の履修登録前にMy Sophiaに掲示するので、各自確認すること。

⑧科目のナンバリング

開講科目担当表に記載された開講科目のナンバリングは、下記のとおり、科目の分野等を示すものである。ナンバリングの趣旨については、履修要覧〔ガイド・資料編〕－II. 教務－4.ナンバリングの項を参照されたい。

分野名（アルファベット）	分野名（英語）	分野名（日本語）
CML	COMMERCIAL LAW	商法
CPL	CIVIL PROCEDURAL LAW	民事訴訟法
CRL	CRIMINAL LAW	刑事法
CVL	CIVIL LAW	民事法
ENL	ENVIRONMENTAL LAW	環境法
INL	INTERNATIONAL LAW	国際法
JUR	JURISPRUDENCE	基礎法
LAW	LAW IN GENERAL	法律一般
PBL	PUBLIC LAW	公法
PIL	PRIVATE INTERNATIONAL LAW	国際私法・取引法
POL	POLITICAL SCIENCE	政治学
SCL	SOCIAL LAW	社会法・経済法
SAC	STUDY ABROAD COURSES	留学

3. 学科科目C群の取扱いについて

下記一覧表の他学部他学科科目I、全学共通科目および語学科目については、学科科目C群（選択科目）として取り扱うことができる。ただし、26単位（このうち、全学共通科目については12単位、語学科目については8単位）までしか認められない。

国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、「履修要覧〔ガイド・資料編〕－II. 教務－5-1. 学部における履修登録－「(3) 国際教養学部開講科目の履修について」の項」についてをよく読み、所定の手続きをふむこと。

3. 学科科目C群の取扱いについて

下記の他学部他学科科目I、全学共通科目および語学科目については、学科科目C群（選択科目）として取り扱うことができる。ただし、26単位（このうち、全学共通科目については12単位、語学科目については8単位）までしか認められない。国際教養学部の科目を履修する場合は、登録方法が異なるので、履修要覧〔ガイド・資料編〕－5-1. 学部における履修登録－「(3) 国際教養学部開講科目の履修について」の項をよく読み、所定の手続きをふむこと。

(1) 他学部他学科科目I

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考
選択科目C群	260710	IRN401-19100	マスコミ倫理法制論Ⅰ	2	(他) 新聞学科
	260711	IRN402-19100	マスコミ倫理法制論Ⅱ	2	(他) 新聞学科
	401103	ECN102-41100	ミクロ経済学A	2	(他) 経済学科
	401202	ECN105-41100	ミクロ経済学B	2	(他) 経済学科
	401203	ECN201-41100	ミクロ経済学C	2	(他) 経済学科
	401110	ECN103-41100	マクロ経済学A	2	(他) 経済学科
	401120	ECN104-41100	マクロ経済学B	2	(他) 経済学科
	B6S54000	ICP310-21100	国際経済学1	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S54001	ICP311-21100	国際経済学2	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S53800	ICP306-21100	グローバル化と文化1	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S53801	ICP307-21100	グローバル化と文化2	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S53900	ICP308-21100	国際協力論1	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S53901	ICP309-21100	国際協力論2	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S52500	IRS306-21100	国際政治史1	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S52501	IRS307-21100	国際政治史2	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S55500	ASA313-21100	南アジア社会経済論	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S55400	ASA312-21100	南アジア史	2	(他) 総合グローバル学科
	B6S55900	ASA317-21100	アジアとグローバル企業	2	(他) 総合グローバル学科
	POL321	POL321-65e00	JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	(他) 国際教養学部 (注1)
	POL205	POL205-65e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	(他) 国際教養学部 (注1)

(注1) 国際教養学部開講の英語による授業

(2) 全学共通科目

履修登録の際に希望する区分を選んで登録すること。なお、一度確定された区分を変更することはできない。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考
選択科目C群	GSS20080	MMI201-02100	企業と社会	2	(他) 全学共通科目
	GSP20320	ECN203 02100	経済学	2	(他) 全学共通科目
	GSP20690	SOC204 02100	社会学	2	(他) 全学共通科目
	GSP21560	SCL201-02100	障害と法	2	(他) 全学共通科目
	GSS30510	ENV206-02e00	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21200	ENG221 02e00	LAW IN ENGLISH A2	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21210	ENG222 02e00	LAW IN ENGLISH B2	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21220	ENG223 02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A1	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21240	ENG225 02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A2	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21230	ENG224 02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B1	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21250	ENG226 02e00	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B2	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21340	ENG235 02e00	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH A1	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GSP21350	ENG236 02e00	ENVIRONMENTAL ISSUES IN ENGLISH B1	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ
	GST30020	PII301-02e00	NEGOTIATION WORKSHOP	2	(他) 全学共通科目 Ⅱ、2022年度までに学科科目として修得済みの者は重複履修不可

Ⅱ. コースAQUILA認定対象科目

(3) 語学科目

履修登録の際に希望する区分を選んで登録すること。なお、一度確定された区分を変更することはできない。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	備考
選択科目C群	854816	ENG143-01e00	ENGLISH FOR INTERNATIONAL TRADE	2	(他) 言語教育研究センター
	854909	ENG120-01e00	CRITICAL THINKING THROUGH BUSINESS ENGLISH	2	(他) 言語教育研究センター
	854910	ENG220-01e00	CRITICAL THINKING THROUGH BUSINESS ENGLISH	2	(他) 言語教育研究センター
	854899	ENG122-01e00	CRITICAL THINKING AND BUSINESS COMMUNICATION	2	(他) 言語教育研究センター
	854900	ENG222-01e00	CRITICAL THINKING AND BUSINESS COMMUNICATION	2	(他) 言語教育研究センター
	854907	ENG123-01e00	CRITICAL THINKING IN NEGOTIATIONS	2	(他) 言語教育研究センター
854908	ENG223-01e00	CRITICAL THINKING IN NEGOTIATIONS	2	(他) 言語教育研究センター	

4. 選択演習・必修演習について

<2025年度注意事項>

1. 在学期間（休学期間を除く）が2年以上の法学部生のみ、履修を認める。
2. 演習履修希望者は、前年度の秋学期に配布される「演習概要」と「募集要項」の指示に従って、演習選考の手続をおこなわなければならない（「演習概要」「募集要項」は、秋学期にMy Sophiaに掲載される）。次年度の履修登録の際は、必ず演習選考の結果に従っておこなうこと。
3. 「選択演習」は3年次以降の選択科目であり、春学期開講「選択演習A」、秋学期開講「選択演習B」（各2単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ2単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。
「選択演習A」「選択演習B」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「選択演習A」の単位を取得しなければ「選択演習B」を履修することはできない。「選択演習A」の単位を取得し、同一年度内に「選択演習B」の単位を取得していない者は、次年度以降に「選択演習B」のみの履修はできないが、「選択演習A」「選択演習B」を履修することはできる。ただし、その場合に、卒業に必要な単位として認められるのは、同一年度に修得した「選択演習A」「選択演習B」の4単位のみである。
4. 「必修演習」は4年次の必修科目である。
2019年度以降の入学者は、春学期開講「必修演習A」、秋学期開講「必修演習B」（各2単位）となる。卒業単位の履修上限はそれぞれ2単位とし、これを超えて履修しても卒業に必要な単位として認められない。「必修演習A」「必修演習B」は、同一年度内に同一教員が開講するものをそれぞれ履修登録し、「必修演習A」の単位を取得しなければ「必修演習B」を履修することはできない。ただし、特別の事情（休学・留学）がある場合には、「必修演習」に関する継続履修制度を利用することができるので、法学部事務室で詳細を確認すること。「必修演習A」を履修しており、秋学期に休学・留学が決定した者は、必ず法学部事務室に申し出ること。また、「必修演習A」の単位を取得し、同一年度内に「必修演習B」の単位を取得していない者は、法学部事務室まで相談すること。
2018年度以前の入学者は、春学期開講「必修演習III」、秋学期開講「必修演習IV」（各3単位）となる。これらの科目の取扱いについては、春学期開講に際して改めてMy Sophiaを通じて指示する。
5. 3年次生は、原則として、「選択演習」の選考手続をおこなう。ただし、次の場合は、例外的な取扱いを認める。
 - (a) **早期卒業希望者**
早期卒業を希望し、2年次終了時に早期卒業登録の要件（[5.「早期卒業制度について」] 参照のこと）を満たしている場合には、早期卒業登録申請をおこなうとともに、「必修演習」として履修登録する（法学部事務室の指示に従って、履修登録を行うこと）。
早期卒業登録の取消または早期卒業時期の変更をおこなった場合も、単位の認定を受けた「必修演習」は、そのまま卒業に要する単位として取り扱う。
 - (b) **交換留学・一般留学予定者**
交換留学・一般留学予定者が、帰国後の年度中に卒業を希望する場合には、帰国手続後に「必修演習」に変更する。その際、一般留学者は、帰国後に、留学にかかる証明書の写しを法学部事務室に提出する（必要な証明書の種類については、法学部事務室に確認すること）。この証明書が提出されない場合、卒業に支障が生じるので、十分に留意されたい。
3年次秋学期から留学する場合には、「演習継続履修願」を法学部事務室に提出することにより、3年次春学期と同じ教員の演習を4年次秋学期に履修することができる（法学部事務室に問い合わせること）。
留学しなかったり、一般留学で留学にかかる証明書を提出しなかったりした場合には、3年次春学期に取得した2単位しか卒業単位には認められない。また、留学を取り止めて、3年次秋学期に同一教員の演習を履修した場合には、「選択演習」の4単位が卒業単位として認められる。
6. コースAQUILA登録者で一定の条件を満たすものが、「必修演習」を履修する場合、指定演習科目（各年度ごとの上記募集要項で示される）を優先的に登録することができる。

〈演習〉

選択科目 (3年次生以上)			単位	必修科目 (4年次生/3年次生:早期卒業登録・法曹コース)			単位	開講期	担当者
ナンバリング	科目コード	授業科目名		ナンバリング	科目コード	授業科目名			
LAW405-30100	347005	選択演習 A (憲法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (憲法)	2	春秋	上田 健介
LAW406-30100	347006	選択演習 B (憲法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (憲法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (憲法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (憲法)	2	春秋	阿部 和文
LAW406-30100	347006	選択演習 B (憲法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (憲法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (行政法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (行政法)	2	春秋	小舟 賢
LAW406-30100	347006	選択演習 B (行政法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (行政法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (行政法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (行政法)	2	休講	大橋 真由美
LAW406-30100	347006	選択演習 B (行政法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (行政法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	永下 泰之
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	善塔 章夫
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	小山 泰史
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	羽生 香織
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	宮澤 俊昭
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民法)	2	春秋	白石 友行
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民事訴訟法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民事訴訟法)	2	休講	田頭 章一
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民事訴訟法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民事訴訟法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (民事訴訟法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (民事訴訟法)	2	春秋	安西 明子
LAW406-30100	347006	選択演習 B (民事訴訟法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (民事訴訟法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (商法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (商法)	2	休講	
LAW406-30100	347006	選択演習 B (商法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (商法)	2	春秋	梅村 悠
LAW405-30100	347005	選択演習 A (商法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (商法)	2	春秋	
LAW406-30100	347006	選択演習 B (商法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (商法)	2	春秋	土田 亮
LAW405-30100	347005	選択演習 A (労働法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (労働法)	2	春秋	富永 晃一
LAW406-30100	347006	選択演習 B (労働法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (労働法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (社会保険法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (社会保険法)	2	春秋	永野 仁美
LAW406-30100	347006	選択演習 B (社会保険法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (社会保険法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (知的財産権法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (知的財産権法)	2	休講	駒田 泰士
LAW406-30100	347006	選択演習 B (知的財産権法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (知的財産権法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (経済法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (経済法)	2	休講	
LAW406-30100	347006	選択演習 B (経済法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (経済法)	2	春秋	伊藤 涉
LAW405-30100	347005	選択演習 A (刑法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (刑法)	2	春秋	
LAW406-30100	347006	選択演習 B (刑法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (刑法)	2	春秋	照沼 亮介
LAW405-30100	347005	選択演習 A (刑法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (刑法)	2	春秋	
LAW406-30100	347006	選択演習 B (刑法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (刑法)	2	春秋	岩下 雅充
LAW405-30100	347005	選択演習 A (政治学)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (政治学)	2	春秋	加藤 浩三
LAW406-30100	347006	選択演習 B (政治学)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (政治学)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (行政学)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (行政学)	2	休講	三浦 まり
LAW406-30100	347006	選択演習 B (行政学)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (行政学)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (国際政治学)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (国際政治学)	2	休講	岡部 みどり
LAW406-30100	347006	選択演習 B (国際政治学)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (国際政治学)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (国際法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (国際法)	2	春秋	江藤 淳一
LAW406-30100	347006	選択演習 B (国際法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (国際法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (国際法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (国際法)	2	春秋	石井 由梨佳
LAW406-30100	347006	選択演習 B (国際法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (国際法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (国際環境法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (国際環境法)	2	春秋	堀口 健夫
LAW406-30100	347006	選択演習 B (国際環境法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (国際環境法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (国際経済法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (国際経済法)	2	春秋	川瀬 剛志
LAW406-30100	347006	選択演習 B (国際経済法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (国際経済法)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (西洋法制史)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (西洋法制史)	2	春秋	松本 尚子
LAW406-30100	347006	選択演習 B (西洋法制史)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (西洋法制史)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (法哲学)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (法哲学)	2	春秋	奥田 純一郎
LAW406-30100	347006	選択演習 B (法哲学)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (法哲学)	2	春秋	
LAW405-30100	347005	選択演習 A (現代ヨーロッパ法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習 A (現代ヨーロッパ法)	2	春秋	東 史彦
LAW406-30100	347006	選択演習 B (現代ヨーロッパ法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習 B (現代ヨーロッパ法)	2	春秋	

選択科目 (3年次生以上)			単 位	必修科目 (4年次生/3年次生:早期卒業登録・法曹コース)			単 位	開 講 期	担 当 者
ナンバリング	科目 コード	授業科目名		ナンバリング	科目 コード	授業科目名			
LAW405-30100	347005	選択演習A(国際私法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(国際私法)	2	春 秋	村上 愛
LAW406-30100	347006	選択演習B(国際私法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(国際私法)	2		
LAW405-30100	347005	選択演習A(国際取引法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(国際取引法)	2	春 秋	森下 哲朗
LAW406-30100	347006	選択演習B(国際取引法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(国際取引法)	2		
LAW405-30100	347005	選択演習A(環境法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(環境法)	2	春 秋	北村 喜宣
LAW406-30100	347006	選択演習B(環境法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(環境法)	2		
LAW405-30100	347005	選択演習A(環境法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(環境法)	2	春 秋	桑原 勇進
LAW406-30100	347006	選択演習B(環境法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(環境法)	2		
LAW405-30100	347005	選択演習A(企業環境法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(企業環境法)	2	休 講	筑紫 圭一
LAW406-30100	347006	選択演習B(企業環境法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(企業環境法)	2		
LAW405-30100	347005	選択演習A(行政環境法)	2	LAW408-30100	347007	必修演習A(行政環境法)	2	春 秋	越智 敏裕
LAW406-30100	347006	選択演習B(行政環境法)	2	LAW409-30100	347008	必修演習B(行政環境法)	2		
				LAW408-30100	347007	必修演習A(法曹コース)	2	春 秋	土田 亮、 穴戸博幸・他
				LAW409-30100	347008	必修演習B(法曹コース)	2		
				LAW401-30100	347003	必修演習Ⅲ(注1)	3	春 秋	
				LAW404-30100	347004	必修演習Ⅳ(注1)	3		

(注1) 2018年度以前入学者 対象

5. 早期卒業制度について

①早期卒業とは

早期卒業とは、在学期間が3年以上あり、所定の手続を経て、3年次終了時または4年次春学期の終了時をもって卒業することをいう（以下では、それぞれ「3年次3月卒業」または、「4年次9月卒業」という）。

②早期卒業をするためには、次の要件をすべて満たしていなければならない。

1. 本人が早期卒業を希望していること。
2. 卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること。
3. 修得済み総単位数に対する成績評価の総合平均点（以下では、「GPA」という）が3.5以上であること。

③早期卒業をするためには早期卒業登録が必要になるが、その取扱いは次のとおりである。

- a) 早期卒業登録をするためには、2年次終了時において、次の要件を満たしていること。
 - イ) 卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入することができる修得済み総単位数が80単位以上（本学で修得した単位を62単位以上含む）である。
 - ロ) 修得済み総単位数に対するGPAが3.2以上である。
- b) 早期卒業登録にあたっては、下記の別表の提出期間内に「早期卒業登録申請書」（法学部事務室で配付）を法学部事務室（2号館12階）に提出する。その際には、みずからが所属することとなる必修演習科目の教員（以下では、「指導教員」という）の承認印を得ること。
- c) 早期卒業するためには、本来4年次に履修する「必修演習」を3年次に履修しなければならないので、2年次において、毎年秋学期配布される「演習概要」と「募集要項」の指示に従って必修演習選考手続をする必要がある。

④早期卒業登録をおこなった後でも次の手続により、卒業時期の変更、早期卒業登録の取消のいずれかを申請することができる。そのための提出書類は、法学部事務室で受け取ること。

- a) 卒業時期の変更は、3年次3月卒業から4年次9月卒業への変更のみに限られる。この場合は、早期卒業変更届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に学科長（法学部事務室）に提出すること。
- b) 早期卒業登録の取消は、早期卒業取消届出書に指導教員の承認印を受けて、下記の別表の提出期間内に法学部事務室を通じて学科長まで届け出ること。
- c) 早期卒業を取り消した場合、3年次に履修した「必修演習」は、そのまま卒業単位として認められる。「必修演習」の単位を取得した3年次生は、4年次にこれらの科目を履修することはできない。早期卒業に至らなかった場合も、これに準じて取り扱う。

📄 (別表)

提出書類	提出期間
早期卒業登録申請書	2025年3月25日～3月31日
早期卒業変更届出書（*変更希望者のみ）	2025年9月21日～9月28日（秋学期履修登録期間）
早期卒業取消届出書（*取消希望者のみ）	3月卒業の取消 → 3年次秋学期履修中止申請期間（2025年11月26日～12月2日）
早期卒業取消届出書（*取消希望者のみ）	4年次9月卒業の取消 → 4年次春学期履修中止申請期間（2025年6月12日～6月16日）

6. コースAQUILAについて

法学部では、2014年次以降の法学部学生に対してコースAQUILAを設置している。国際関係法学科所属の学生については希望者全員に登録を認める（登録時期は1年次生の10月、2年次生以降は4月、10月）。法律学科、地球環境法学科所属の学生については、登録時期の直近においてGPA2.8以上のスコアを獲得した者について、（学科長等による面接等を経て）コースAQUILAへの参加を許可することがある（登録時期は2年次生以降の4月、10月）。詳しくは法学部事務室に問い合わせること。「開講科目担当表」上、「授業科目名」が英語で表記されているものは、コースAQUILA認定対象科目である。これらの科目は法学部生であれば誰でも履修できるが、一部の科目は定員制限があり、定員超過の場合はコースAQUILA登録者が優先される。定員制限のある科目は、開講科目担当表の「備考」欄にそれぞれ明記しているので、注意すること。

また、法学部の海外短期研修（「8. 海外短期研修科目について」参照）も、所定の募集人数を超えた場合はコースAQUILA登録者が優先される。

①コースAQUILAの登録方法について

コースAQUILAの登録に関しては、適宜My Sophiaでアナウンスするので、希望者は必ずチェックすること。

②コースAQUILAの修了要件について

コースAQUILAを修了するためには、次の要件を満たしていなければならない。

1) 下表の科目群（以下では、「コースAQUILA科目」という）から10単位以上を履修し、そのうち10単位分の平均GPAが3.0以上であること。なお、コースAQUILA科目から12単位以上取得した場合の平均GPAは、成績の良い10単位分から算出する。ただし、コース登録時より前に取得した単位は、コース認定対象科目としては認められない（卒業単位としては認められる）。

コース認定対象科目群（※隔年開講科目）

INTRODUCTION TO US LAW (CONSTITUTION) I・II（～2019年度）
JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I※（～2019年度）
JAPANESE LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II※（～2021年度）
TORTS※（～2020年度）
PROPERTY※（～2021年度）
INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS（～2021年度）
BUSINESS FUNDAMENTALS: ACCOUNTING AND CORPORATE FINANCE（～2021年度）
COMPARATIVE LAW SEMINAR (M)（～2022年度）
RETHINKING INTELLECTUAL PROPERTY POLICIES※（～2023年度）
GLOBAL ECONOMY AND LAW SEMINAR (M) ※（～2023年度）
LEGAL WRITING（～2024年度）
LAW AND SOCIETY（～2024年度）
CONTRACTS（～2024年度）
NEGOTIATION WORKSHOP
CORPORATIONS
HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT
INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY
JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES
INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER
INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS) (M) ※
INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW) (M) ※
PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I・II
COMPARATIVE POLITICS
INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW
INTRODUCTION TO THE COMMON LAW
JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE I・II
EUROPEAN UNION LAW I※
EUROPEAN UNION LAW II※
READINGS IN LAW (M)
SPECIALIZED SEMINAR I (LEGAL HISTORY) (M)
SPECIALIZED SEMINAR II (FOREIGN LAW) (M)
BASIC SEMINAR (AQUILA) (M)
SPECIALIZED SEMINAR III (AQUILA)

SPECIALIZED SEMINAR IV (AQUILA)
LAW IN ENGLISH A2 (2023 年度～)
LAW IN ENGLISH B2 (2023 年度～)

- ・(M)とは、教材や授業中の使用言語のいずれかが、英語以外の言語（日本語など）で行われる授業であることを意味する。それ以外の科目は、教材も授業中の使用言語も英語。
- ・コースAQUILA科目の受講にあたっては、TOEFL (PBT) :530、TOEFL (iBT) :71 相当の英語力があることが望ましい。
- ・SEMINAR は原則として定員30名とする。定員超過の場合は、コースAQUILA登録者を優先する。

2) 上記1) の要件に加えて、コース登録後に次のいずれかの要件を満たすこと（成績・評価の内容は問わない）。

- ・ a) 「AQUILA対応科目」に指定されている「演習」の単位を取得すること（必修でも選択でも構わない）。当該「演習」の詳細については秋学期に配布する「演習概要」において説明するが、原則として「国際法」「国際私法」「国際取引法」「国際経済法」「西洋法制史」「国際政治学」「国際環境法」「現代ヨーロッパ法（2025年度～）」のそれはすべて対象となる。
- ・ b) 西オーストラリア大学への短期研修に参加して単位を取得すること。
- ・ c) 上記10単位に加えて追加で4単位分のAQUILA科目単位を取得すること。
- ・ d) 交換留学等、海外の大学で履修し本学の単位に互換される、国際関係（法学・政治学）に関連する単位が4単位分あること。
- ・ e) 法学部が卒業単位として認定する英語で実施される他学部他学科科目を4単位取得し、これが上記c) またはd) に相当すると判断されるものであること。
- ・ f) 上智大学が提供する海外研修に参加しかつ修了する場合、国際交流活動への参加・従事の実績がある場合、またはその他の学習成果・実績等がある場合で、上記のいずれかの要件に相当するものと判断されること。

〔注意〕 上記d) 以降での申請を希望する場合には、その計画がコースAQUILAの修了要件となるかどうかについて事前に法学部事務室を通じてコースAQUILA担当教員に相談することを求める。なお、d) 以降については、二つ以上にまたがる認定（合算）を可とする（詳しくは法学部事務室に問い合わせること）。

③コースAQUILAの修了認定証について

コースAQUILAの修了認定証は、要件が充足された段階で授与が可能となる。希望者は法学部事務室に問い合わせること。コース修了見込者が修了認定の申請を行った場合、成績が確定した段階で修了要件を満たしているか確認される。

7. 地球環境法特修コース認定について

法学部では、地球環境法特修コースの認定をおこなっており、地球環境法学科以外の法学部生もその対象となる。コース申請の資格条件を満たす者は、環境法関係の演習（選択演習または必修演習）の履修登録をしたうえで、上記特修コース修了認定の申請をすることができる。

① 次のイ) およびロ) の条件を満たす地球環境法学科生は、環境法関係の演習（「選択演習A」「選択演習B」または「必修演習A」「必修演習B」。2018年度以前の入学者については「選択演習A」「選択演習B」または「必修演習III」「必修演習IV」）の履修登録をしたうえで、特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる。また、すでに上記の「演習」または「選択演習I」「選択演習II」を修得している者も認定を受けることができる。

イ) 2年次までの必修科目をすべて単位取得し、かつ、「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」の取得単位の平均GPAが3.0以上であること。

ロ) 下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、そのうち14単位分の平均GPAが3.0以上であること。なお、環境法関係科目から14単位以上修得した場合の平均GPAは、成績の良い14単位分から算出する。

② 法学部他学科生であっても、次のイ) およびロ) の条件を満たす者（法律学科生、国際関係法学科生）は、環境法関係の演習（「選択演習A」「選択演習B」または「必修演習A」「必修演習B」。2018年度以前の入学者については「選択演習A」「選択演習B」または「必修演習III」「必修演習IV」。対象となる演習は、演習選考時に公開される「演習概要」を参照すること。）の履修登録をしたうえで、特修コース修了認定の申請をおこない、その認定を受けることができる。また、すでに上記の「演習」または「選択演習I」「選択演習II」を修得している者も認定を受けることができる。

イ) 当該学科の「必修演習」を除く必修科目をすべて単位取得していること。

ロ) 「環境法入門」「環境法総論」「環境法各論」および下記の環境法関係科目を14単位以上取得し、かつ、そのうち14単位分の平均GPAが3.0以上であること。なお、環境法関係科目から14単位以上修得した場合の平均GPAは、成績の良い14単位分から算出する。

◀環境法関係科目▶（すべて2単位）

環境訴訟法Ⅰ・Ⅱ	エネルギーと法	自治体環境法	廃棄物・リサイクル法
企業環境法	自然保護法	まちづくりと法	比較環境法
環境社会学	国際環境法	ヨーロッパ環境法	アメリカ環境法
アジア環境法	地球温暖化と法	環境刑法	企業環境マネジメント論
環境法特殊講義	環境問題特殊講義		

③ 上記①・②の手続については、所定の申請書（My Sophiaで配布）に記入のうえ、法学部事務室を通じて地球環境法学科長に申請する。

8. 海外短期研修科目について

法学部では、下記の研修を設けている。法学を学ぶ本学の学生のために開発したオリジナル・プログラムであり、研修先で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することもできるので、積極的な参加を推奨する。

なお、研修参加の条件などの詳細については、履修要覧〔ガイド・資料編〕－Ⅱ.教務－15. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について－[(2) 海外短期研修による単位認定・単位付与]の項を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」を熟読するとともに、グローバル教育センターのホームページを参照すること。また、学科により履修度が異なるため、各学科の「開講科目担当表」を確認すること。

法学部の海外短期研修以外にも、本学の海外協定校等で取得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができるので、あらかじめ法学部事務室を通じて学科長と相談されたい。

- ・ 海外短期研修（西オーストラリア大学）

9. 基礎演習Aについて

「基礎演習A」の履修にあたり、以下の点に注意すること。

①2年次の法学部生のみ、履修を認める。

②2023年度より、抽選科目（定員 各20名）となっている。

「憲法」「刑法」「経済法（2025年度休講）」「行政法（2025年度休講）」「民事訴訟法」「国際取引法」「環境法（2025年度休講）」が開講され、1科目（2単位）のみ履修できる。

10. 高度専門演習について

2023年度より開講されている「高度専門演習」履修にあたり、以下の点に注意すること。

① 3・4年次の法学部生のみ、履修を認める。

② 抽選科目（定員 各20名）である。

「企業の変容」「企業法とサステナビリティ」「政治経済学」「生命倫理と法」が開講される。この演習については複数科目の履修を認め、所定の単位に充当できる（ただし、同じ科目コードのものを除く）。

11. 法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B（法曹コース）について

いずれの科目も、法曹コース登録生（[12.法曹コースについて]の項を参照）を対象（優先）とした演習科目であるが、人数に余裕がある場合は、法曹コースの登録生以外の法学部生の履修も認められる。法曹コース生以外の学生について、各演習の募集・選考をおこなう場合は、その手続についてMy Sophiaに掲載される。

12. 法曹コースについて（2019年次生以降対象）

①2019年次生以降の法学部生は、法曹コースに登録することができる。

法曹コースの指定科目・推奨科目・共同開講科目は下記のとおりである。

法曹コースでは、各学科の必修科目のほかに、下記の通り、多くの法曹コース指定科目を履修することが求められる。

このため、第2外国語として、開講クラス数が少ない外国語を選択すると、法曹コースを修了するのに必要な科目の開講日時と第2外国語の開講日時が重なって、3年間で必要な授業の履修を完了できないという事態が生じる可能性がある。第2外国語を選択する際には、この点について十分留意されたい。また、国際関係法学科および地球環境法学科の学生については、各学科指定科目との時間割の重複にも留意されたい。

	1年次	2年次	3年次
指定科目	法学入門、憲法（基本的人権）、民法総則Ⅰ・Ⅱ	憲法（統治機構）、債権法総論Ⅰ・Ⅱ、債権法各論Ⅰ・Ⅱ、物権法、担保物権法、刑法総論、刑法各論、法解釈演習、基礎演習B（民法）（注1）、応用演習（注3）	会社法Ⅰ、民事訴訟法Ⅰ、刑事訴訟法、基礎演習B（商法）（注2）、必修演習A・B（注4）
推奨科目	現代社会と法律実務、法解釈基礎	行政法総論、法実務入門	行政救済法
共同開講科目（注5）			法と経済学、法社会学、スポーツ・エンタテインメント法、金融法、LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS

（注1）法曹コース登録生を対象（優先）とした演習科目で、親族法・相続法の内容を少人数演習で行う。

（注2）法曹コース登録生を対象（優先）とした演習科目で、会社法Ⅱの内容を少人数演習で行う。

（注3）法曹コース2年次生を対象（優先）とした演習科目。

（注4）法曹コース3年次生を対象（優先）とした演習科目。

（注5）上智大学法科大学院で開講されている科目を共同開講とし、法学部の単位として修得できる（2023年度から）。

②法曹コース登録（出願）要件

法曹コースの登録（出願）要件は、下記のとおりである（いずれも1年次秋学期終了時点）。

- ・修得単位数が34単位以上であること
- ・全科目の総合平均GPAが2.8以上であること

コース登録に関しては、別途、1月頃に説明会を実施し、My Sophiaで登録手続について案内する。登録の可否については法曹コース運営委員会において検討のうえ、3月末までに通知する。

③法曹コース登録生については、2年次末に（4年次進級の場合には3年次末にも）成績および修得単位数等に基づき、資格継続の審査をおこなう。なお、登録の解除を希望する学生はその旨を申し出ることができる。

④早期卒業要件（3年次でコースを修了し、早期卒業する場合）

以下の要件を満たす法曹コース登録生を、法曹コースを修了したものとし、早期卒業（法曹コース登録生対象）の対象とする。

- ・3年次に在籍していること
- ・法学部開講科目（ここでの「法学部開講科目」とは、本学における「学科科目」（ただし選択必修の語学科目（8単位）は除く）を指す。以下同じ）の総合平均GPAが3.0以上であること

- ・法曹コース指定科目につき、単位を修得していること
 - ・法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること
- ⑤コース修了要件（早期卒業でない卒業、飛び入学をする場合）

法曹コース登録生が、早期卒業（法曹コース登録生対象）ではない卒業、または、3年次から4年次の進級時に、本学の法科大学院へ飛び入学をしようとする場合においては、法曹コースを修了するためには、以下を満たす必要がある。飛び入学では学士号が取得できないことに注意されたい。

- ・法曹コース指定科目につき、単位を修得していること
- ・法学部の所属学科が定める卒業に要する科目、単位数の要件を満たしていること
- ・法曹コース指定科目の5割以上がAまたはBの成績であること、ないし、法学部開講科目の総合平均GPAが2.8以上であること

⑥上記の登録、解除、コース生の指導、その他法曹コースの運営に必要な事項については、法曹コース運営委員会が所掌する。

法律学科

法律学科

📄 法律学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 開講科目担当表

法律学科について

〔教育研究上の目的〕

法的判断枠組みの基本構造、実社会と法制度の関わりを重点的に学び、法律学の基礎的素養である問題解決能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

法律学に特有の利益調整方法や問題の発見方法を習得し、これを活用しうるような法的思考能力を備えた人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、法の支配と公正な社会の更なる実現に向けて、次のような能力を修得した人材の養成を目的に、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会におけるさまざまな問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力
2. 社会におけるさまざまな問題の法的な解決に資する提言をする能力
3. 法的な思考枠組を現実のさまざまな問題に応用する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法的な思考枠組を体得し、社会の問題を当該枠組を用いて検討する力を養うために、法律学の基本をなす憲法・民法・刑法をはじめとする実定法（法律基本科目）の講義を必修科目として配置する。
2. 問題の法的解決に資する力を養い高めるために、法律基本科目のみならず広くその他の実定法科目・基礎法学科目・隣接科目の講義を、選択必修科目または選択科目として配置する。
3. 法的な思考枠組を社会に生起する様々な問題に応用する力を養うために、少人数の演習を4年次の必修科目として（意欲ある学生のためには3年次以上での選択科目としても）配置する。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降（合計126単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 96単位

- ・ 必修 24単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 44単位

19～21年次生（合計126単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 96単位

- ・ 必修 24単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 44単位

18年次生以前（合計126単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 96単位

- 必修 26単位
- 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- 選択 42単位

2. 標準配当表

[法律学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
	思考と表現	2						
データサイエンス概論	2							
課題・視座・立場性を考える	2							
選択必修 (6単位)			キリスト教人間学	2			高学年向け科目	4
選択 (12単位)	※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される							

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	語学選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (24単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習A(注2)	2
		導入演習	1	債権法各論I	2			必修演習B(注2)	2
		憲法(基本的人権)	4	債権法各論II	2				
民法総則I		2	刑法総論	4					
民法総則II		2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (44単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、[学部科目編]—語学科目の項を参照。

(注2) 法曹コース生は3年次で必修演習A・B(法曹コース)を履修登録すること。

[法律学科] 標準配当表

19～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	* 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(4単位) 必修 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	(8単位) 選択必修 語学科目	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	(24単位) 必修	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習A(注2)	2
		導入演習	1	債権法各論I	2			必修演習B(注2)	2
		憲法(基本的人権)	4	債権法各論II	2				
民法総則I		2	刑法総論	4					
(20単位) 選択必修	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
(44単位) 選択	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、[学部科目編]—語学科目の項を参照。

(注2) 法曹コース生は3年次で必修演習A・B(法曹コース)を履修登録すること。

[法律学科] 標準配当表

18年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)					高学年向け教養科目	2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	(4単位) 必修「英語」	ACADEMIC COMMUNICATION1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	(8単位) 語学選択必修科目	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	(26単位) 必修	法学入門 導入演習 憲法(基本的人権) 民法総則I 民法総則II	1 1 4 2 2	憲法(統治機構) 債権法各論I 債権法各論II 刑法総論	2 2 2 4			必修演習III 必修演習IV 3 3
	(20単位) 選択必修	学科科目B群	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
	(42単位) 選択	学科科目C群	学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、[学部科目編]—語学科目の項を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

3. 開講科目担当表

3. 開講科目担当表 語学科目(選択必修科目)・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1~4		履修については【学科学目編】一語学科目の項を参照

学科学目A群(必修科目)・・・19年次生以降 24単位 18年次生以前 26単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考	
必修科目	学科学目A群	330009	LAW102-30J00 法学入門	1	1Q	梅村 悠	1		(注1)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律1クラスA】	1	春	大橋 真由美	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律1クラスB】	1	春	大橋 真由美	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律2クラスA】	1	春	羽生 香織	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律2クラスB】	1	春	羽生 香織	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律3クラスA】	1	春	照沼 亮介	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律3クラスB】	1	春	照沼 亮介	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律4クラスA】	1	春	善塔 章夫	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律4クラスB】	1	春	善塔 章夫	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律5クラスA】	1	春	佐藤 結美	1		(注1)(注2)	
		330010	LAW101-30J00 導入演習【法律5クラスB】	1	春	佐藤 結美	1		(注1)(注2)	
		330140	PBL201-30J00 憲法(基本的人権)	4	秋	森 美矢紀	2			
		330161	PBL204-30J00 憲法(統治機構)	2	秋	上田 健介	2			
		330007	CVL205-30J00 民法総則Ⅰ(自然人、物、法律行為)【法律】	2	春	水下 泰之	1			国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可
		330008	CVL206-30J00 民法総則Ⅱ(代理、法人、期間、時効)【法律】	2	秋	白石 友行	1			国際関係法学科生・地球環境法学科生履修不可
		330313	CVL201-30J00 債権法各論Ⅰ(契約)	2	春	白石 友行	2			1年次生履修不可
		330314	CVL207-30J00 債権法各論Ⅱ(事務管理、不当利得、不法行為)	2	秋	宮澤 俊昭	2			1年次生履修不可
		330501	CRL201-30J00 刑法総論	4	春	伊藤 渉	2			
		347003	LAW401-30J00 必修演習Ⅲ	3	春	各教員	4			(注1)(注3)「4.演習について」および履修上の注意を参照、18年次生以前対象
		347004	LAW404-30J00 必修演習Ⅳ	3	秋	各教員	4			(注1)(注3)「4.演習について」および履修上の注意を参照、18年次生以前対象
		347007	LAW409-30J00 必修演習A	2	春	各教員	4(-3)			(注1)「4.演習について」および履修上の注意を参照、19年次生以降対象
		347008	LAW409-30J00 必修演習B	2	秋	各教員	4(-3)			(注1)「4.演習について」および履修上の注意を参照、19年次生以降対象
		347007	LAW408-30J00 必修演習A(法曹コース)	2	春	土田 亮 穴戸 博幸・他	3(-4)			(注1)法曹コース生対象
		347008	LAW409-30J00 必修演習B(法曹コース)	2	秋	土田 亮 穴戸 博幸・他	3(-4)			(注1)法曹コース生対象

学科学目B群(選択必修科目)・・・20単位 選択必修科目(B群)については、卒業に必要な20単位を超過して修得した単位は選択科目(C群)に算入される。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科学目B群	330171	PBL306-30J00 憲法訴訟	2	休講		3・4		隔年開講
		333000	JUR302-30J00 法哲学	4	春	奥田 純一郎	3・4		
		332010	PBL202-30J00 行政法総論	4	春	大橋 真由美	2		[230名]法曹コース生優先、地球環境法学科生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
		335110	PBL203-30J00 行政救済法	4	秋	小舟 賢	2・3		[150名]法曹コース生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
		332133	CVL204-30J00 物権法	2	春	善塔 章夫	2		1年次生履修不可
		332102	CVL203-30J00 担保物権法	2	秋	小山 泰史	2		1年次生履修不可
		330335	CVL208-30J00 債権法総論Ⅰ(債務不履行、弁済、責任財産の保全)	2	春	小山 泰史	2		1年次生履修不可
		330336	CVL209-30J00 債権法総論Ⅱ(債権譲渡、相殺、多数当事者の債権債務関係)	2	秋	善塔 章夫	2		1年次生履修不可
		332203	CVL301-30J00 親族法	2	春	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
		332303	CVL302-30J00 相続法	2	秋	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
		332680	CRL202-30J00 刑法各論	4	秋	照沼 亮介	2		[80名]法曹コース生優先、法律学科2年次生以上優先、法学部生優先
		332405	CML303-30J00 会社法Ⅰ	4	春	深澤 泰弘	3・4		[150名]法曹コース生優先、法学部3・4年次生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
		332406	CML304-30J00 会社法Ⅱ	4	秋	梅村 悠	3・4		
		356104	CML308-30J00 手形・小切手法	2	春	土田 亮	3・4		
		332503	CPL302-30J00 民事訴訟法Ⅰ	4	春	安西 明子	3・4		
		335604	CPL303-30J00 民事訴訟法Ⅱ	2	秋	田頭 章一	3・4		(注1)
		332703	CRL302-30J00 刑事訴訟法	4	秋	岩下 雅充	3・4		1年次生履修不可
		332801	SCL306-30J00 労働法Ⅰ	2	1Q	富水 晃一	3・4		(注3) [105名]法学部生優先
		332802	SCL307-30J00 労働法Ⅱ	2	2Q	富水 晃一	3・4		(注3) [105名]法学部生優先
		336021	SCL305-30J00 社会保険法Ⅰ	2	春	永野 仁美	3・4		(注3)
		336022	SCL308-30J00 社会保険法Ⅱ	2	秋	永野 仁美	3・4		(注3)
		339102	SCL301-30J00 経済法	4	休講		3・4		[150名]法学部3・4年次生優先
		337501	POL303-30J00 現代行政学	2	秋	三浦 まり	3・4		[80名]1年次生履修不可
		337502	POL204-30J00 現代日本政治論	2	秋	三浦 まり	2		[190名]法学部2年次生以上優先

学科科目C群(選択科目)・・・19年次生以降 44単位
18年次生以前 42単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 C群	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(憲法)	2	秋	巻 美久紀	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(刑法)	2	秋	佐藤 結美	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(経済法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(行政法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(民事訴訟法)	2	春	安西 明子	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(国際取引法)	2	秋	森下 哲朗	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(環境法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330015	LAW305-30J00	基礎演習B(民法)	2	秋	羽生 香織	2・3		法曹コース生優先(注1)(注4)
	330016	LAW306-30J00	基礎演習B(商法)	2	秋	深澤 泰弘	2・3		法曹コース生優先(注1)(注4) 会社法Iを履修済みであることが望ましい
	333950	LAW304-30J00	法解釈演習	2	春	穴戸 博幸 越智 敏裕 対木 和夫 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	2		輪講、法曹コース生優先(注1)(注4)
	347009	LAW407-30J00	応用演習	2	秋	深澤 泰弘、他	2・3		輪講、法曹コース生優先(注1)(注4)
	347005	LAW405-30J00	選択演習A	2	春	各教員	3・4		(注1)
	347006	LAW406-30J00	選択演習B	2	秋	各教員	3・4		(注1)
	333900	LAW105-30J00	法解釈基礎	2	秋	佐藤 結美	1		1年次生のみ履修可
	330012	LAW104-30J00	現代社会と法律実務	1	2Q	コーディネータ 森下 哲朗 穴戸 博幸 対木 和夫 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	1		輪講(注1)
	339402	PBL304-30J00	比較憲法	2	春	上田 健介	3・4		隔年開講
	336602	JUR202-30J00	比較法I	2	春	東 史彦	3・4		隔年開講(注3)
	336603	JUR201-30J00	比較法II	2	休講		3・4		隔年開講(注3)
	333415	JUR313-30J00	英米法I	2	春	*赤沢 恒	3・4		[150名] 国際関係法学科3・4年次生優先、法律学科3・4年次生および地球環境法学科3・4年次生優先(注3)
	333416	JUR314-30J00	英米法II	2	休講		3・4		(注3)
	333513	JUR309-30J00	ドイツ法Ia	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
	333514	JUR310-30J00	ドイツ法Ib	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
	333512	JUR304-30J00	ドイツ法II	2	秋	松本 尚子	3・4		(注3)
	333613	JUR315-30J00	フランス法	2	春	*小川 有希子	3・4		隔年開講(注3)
	366410	INL310-30e00	EUROPEAN UNION LAW I	2	秋	東 史彦	3・4	○	隔年開講(注3) 因
	366420	INL311-30e00	EUROPEAN UNION LAW II	2	休講		3・4	○	隔年開講(注3) 因
	337011	JUR303-30J00	西洋法制史	2	春	松本 尚子	3・4		
	337101	CRL303-30J00	法医学	2	秋	*黒崎 久仁彦	2~4		[150名] 法学部生優先
	337102	LAW301-30J00	医療と法	2	秋	コーディネータ 奥田 純一郎 佐藤 結美 水野 仁英 水戸 泰之	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生、看護学科生優先
	335202	PBL301-30J00	租税法	2	秋	*伊藤 剛志	3・4		隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	335250	PBL302-30J00	地方自治法	2	休講		3・4		[100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	311200	CVL303-30J00	消費者法	2	秋	善塔 章夫	3・4		隔年開講、1・2年次生履修不可
	335305	CML305-30J00	商取引法	2	秋	深澤 泰弘	3・4		
	335401	CML306-30J00	保険法	2	秋	梅村 悠	3・4		[150名] 法学部3・4年次生優先、法学部生優先
	335503	CML307-30J00	海商法	2	秋	*清水 太郎	3・4		隔年開講
	335627	CPL301-30J00	民事執行・保全法	2	秋	安西 明子	3・4		
	336910	CPL304-30J00	倒産処理法	2	春	田頭 章一	3・4		
	335703	CRL203-30J00	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光旭	2・3		
	333520	CRL304-30J00	経済刑法	2	秋	*足立 友子	3・4		隔年開講 [150名]
	335811	SCL302-30J00	知的財産権法I	4	休講		3・4		隔年開講
	335813	SCL303-30J00	知的財産権法II	2	休講		3・4		隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先、法学部生優先、1年次生履修不可(注3)
	335814	SCL311-30J00	知的財産権法III	2	秋	駒田 泰士	3・4		
	332910	INL201-30J00	国際法総論	4	春	石井 由梨佳	2		
	336311	INL202-30J00	国際法各論	2	秋	堀口 健夫	2		
336405	INL301-30J00	国際紛争処理法	2	秋	石井 由梨佳	3・4			
345015	INL303-30J00	国際組織法	2	休講		3・4		隔年開講(注3)	
336204	PIL314-30J00	国際私法I	2	春	村上 愛	3・4			
336205	PIL315-30J00	国際私法II	2	秋	村上 愛	3・4			
333308	PIL309-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	村上 愛	3・4	○	(注1) 因	
333309	PIL310-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	村上 愛	3・4	○	(注1) 因	
361601	PIL311-30J00	国際取引法総論	2	春	森下 哲朗	3・4		(注3)	
361602	PIL312-30J00	国際取引法各論	2	休講		3・4		(注3)	
340100	INL302-30J00	国際経済法	4	春	川瀬 剛志	2~4		1年次生履修不可	
333181	POL201-30J00	政治学	4	春	加藤 浩三	2		[110名] 法学部2年次生優先、国際関係法学科生・地球環境法学科生優先	
333303	POL203-30J00	比較政治論	2	春	*網谷 龍介	3・4			
337505	POL206-30J00	時事政治論	2	休講		1・2		[20名] 隔年開講 法学部1・2年次生優先(注1)	
333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*NORTHIE Jake	3・4	○	因	
310402	POL301-30J00	規制と政治	2	春	*古屋 将太	3・4		[100名]	
338001	POL202-30J00	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2		[250名] 国際関係法学科2年次生以上優先、法学部生優先	
390400	POL306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○	因	
390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE I	2	春	*WOLFF Leon	2~4	○	因	
390387	JUR206-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE II	2	秋	*WOLFF Leon	2~4	○	因	
390310	INL306-30e00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先、(注1) 因	

390311	INL307-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤 淳一	3・4	隔年開講【30名】コースAQUILA登録者優先、(注1) (M) ㊟
333307	POL302-30e00	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	休講		3・4	㊟【40名】㊟
337503	POL304-30e00	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦 まり	3・4	㊟「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。
338010	POL307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	㊟
390350	PIL304-30e00	CORPORATIONS	2	休講		2~4	㊟
390384	PIL205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	休講		2~4	㊟
390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	休講		2~4	㊟
333800	PIL303-30j00	アジア法	2	秋	*森口 聡 コーディネータ	3・4	【190名】法学部生優先
310201	ENL202-30j00	環境法入門	2	春	越智 敏裕 桑原 勇進 大橋 真由美 堀口 健夫 梅村 悠 北村 喜宣	1	
341301	ENL204-30j00	環境法総論	2	秋	越智 敏裕	1	【250名】地球環境法学科生優先
310701	ENL203-30j00	環境法各論	2	春	北村 喜宣	2	1年次生履修不可(注1)
341103	ENL206-30j00	環境訴訟法 I	2	休講		2	隔年開講(注3)
341104	ENL205-30j00	環境訴訟法 II	2	春	越智 敏裕	2	隔年開講(注3)
311102	ENL207-30j00	エネルギーと法	2	春	*丸山 真弘	2	(注3)
311001	ENL304-30j00	自治体環境法	2	休講		3・4	【100名】地球環境法学科生優先(注1)
341501	ENL306-30j00	廃棄物・リサイクル法	2	休講		3・4	【150名】地球環境法学科3・4年次生優先、法学部3・4年次生優先、法学部生優先
341400	ENL302-30j00	企業環境法	2	休講		3・4	
311800	ENL301-30j00	企業環境マネジメント論	2	春	*科野 宏典・他	3・4	輪講【150名】法学部3・4年次生優先
310800	ENL303-30j00	自然保護法	2	春	桑原 勇進	3・4	【100名】地球環境法学科生優先
341722	ENL310-30j00	まちづくりと法	2	秋	越智 敏裕	3・4	隔年開講【500名】法学部生優先
341600	ENL201-30j00	比較環境法	2	秋	桑原 勇進	2	
341720	ENL208-30j00	環境社会学	2	春	*野田 岳仁	2~4	【160名】
341001	ENL307-30j00	国際環境法	2	春	堀口 健夫	3・4	
310900	ENL308-30j00	ヨーロッパ環境法	2	休講		3・4	隔年開講
311901	ENL311-30j00	アメリカ環境法	2	秋	筑紫 圭一	3・4	
312200	ENL305-30j00	アジア環境法	2	休講		3・4	隔年開講
312100	ENL312-30j00	地球温暖化と法	2	秋	堀口 健夫	3・4	隔年開講
311700	CRL301-30j00	環境刑法	2	休講		3・4	隔年開講
342904	PBL305-30j00	法律学特殊講義 I (立法過程の実務と理論)	2	春	*梶山 知唯	3・4	
342914	CML301-30j00	法律学特殊講義 II (信託法)	2	秋	*中山 裕人	3・4	
342924	JUR205-30j00	法律学特殊講義 III (法思想史)	2	秋	奥田 純一郎	1・2	
342941	CML302-30j00	法律学特殊講義 IV (金融商品取引法)	2	休講		3・4	隔年開講
342952	PBL307-30j00	法律学特殊講義 V (公法)	2	春	小舟 賢	2~4	隔年開講【100名】法学部生優先、1年次生履修不可
345027	INL304-30j00	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*長谷部 潤	3・4	【30名】法学部3・4年次生優先(注3)
344808	POL302-30j00	国際関係法特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*楊 志輝	3・4	【200名】法学部3・4年次生優先
311300	ENL309-30j00	環境問題特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	休講		3・4	輪講 隔年開講【200名】法学部3・4年次生優先
311427	ENL313-30j00	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	春	*安達 宏之	3・4	隔年開講
364010	CYL304-30j00	民法特殊講義 I	2	秋	宮澤 俊昭	3・4	【100名】1・2年次生履修不可 法学部生優先
364020	CYL305-30j00	民法特殊講義 II	2	休講		3・4	【100名】1・2年次生履修不可 法学部生優先
364210	CRL204-30j00	刑法特殊講義 I	2	春	照沼 亮介	1	
364220	CRL205-30j00	刑法特殊講義 II	2	春	伊藤 渉	2・3	
364230	CRL206-30j00	刑法特殊講義 III	2	秋	佐藤 結美	2	
335710	CRL207-30j00	刑事司法概論	2	秋	岩下 雅充	2	【100名】法学部2年次生優先、法学部生優先
341730	ENL101-30j00	時事環境法政策演習	2	秋	桑原 勇進	1	【20名】法学部1年次生のみ履修可、地球環境法学科生優先(注1)
348010	CML401-30j00	高度専門演習 I (企業法の変容)	2	春	深澤 泰弘	3・4	【20名】1・2年次生履修不可(注1)
348020	CML402-30j00	高度専門演習 II (企業法とサステナビリティ)	2	春	梅村 悠	3・4	【20名】1・2年次生履修不可(注1)
348030	POL401-30j00	高度専門演習 III (政治経済学)	2	秋	加藤 浩三	3・4	【20名】1・2年次生履修不可(注1)
348040	JUR401-30j00	高度専門演習 IV (生命倫理と法)	2	秋	奥田 純一郎	3・4	【20名】1・2年次生履修不可(注1)
320000	LAW206-30j00	法実務入門	2	春	土田 亮	2	【25名】法曹コース生優先(注1)
337504	POL205-30j00	現代国際関係論	2	春	岡部 みどり	1・2	【30名】法学部2年次生優先(注1)
333200	LAW207-30j00	文化芸術と法	2	休講		1~4	隔年開講【800名】法学部生優先
333310	LAW208-30m00	READINGS IN LAW	2	休講		2	㊟
330017	LAW204-30m00	BASIC SEMINAR (AQUILA)	2	春	東 史彦 *DOERING Henri	2	輪講【30名】法学部2年次生のみ履修可、コースAQUILA登録者優先、(M) ㊟(注1)
349010	LAW410-30m00	SPECIALIZED SEMINAR I (LEGAL HISTORY)	2	休講		3・4	隔年開講【30名】1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先、(M) ㊟
349020	LAW411-30m00	SPECIALIZED SEMINAR II (FOREIGN LAW)	2	秋	松本 尚子	3・4	隔年開講【30名】1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先、(M) ㊟
349030	LAW412-30e00	SPECIALIZED SEMINAR III (AQUILA)	2	春	TREHEARNE A. D. COLIN	3・4	㊟【30名】1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先 ㊟
349040	LAW413-30e00	SPECIALIZED SEMINAR IV (AQUILA)	2	秋	*DOERING Henri	3・4	㊟【30名】1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先 ㊟
380002	JUR316-30j00	法と経済学	2	春	*加賀見 一彰	3(・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象(注1)(注5)
380003	JUR317-30j00	法社会学	2	秋	*太田 勝造	3(・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象(注1)(注5)
380001	SCL309-30j00	スポーツ・エンタテインメント法	1	春集中	森下 哲朗・他	3(・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象(注1)(注5)
380004	SCL310-30j00	金融法	2	秋	深澤 泰弘・他	3(・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象(注1)(注5)
380005	PIL313-30e00	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	1	秋集中	森下 哲朗・他	3(・4)	㊟法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象(注1)(注5)

㊟コースAQUILA認定対象科目

(M) …教材や授業中の使用言語のいずれかが、英語以外の言語(日本語など)で行われる。

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 履修登録するクラスはMy Sophiaで周知するので確認すること。

(注3) 科目名の変更にもなう重複不可の科目があるため、「2.履修上の注意」を参照のこと。

(注4) 法曹コース生以外の希望者は「11.法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B(法曹コース)について」の項を参照。

(注5) 法曹コース4年生(早期卒業しない法曹コース登録生)履修可。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 C群	N99219	SAC201-30e00	海外短期研修（西オーストラリア大学）	4	秋	国際関係法学科教員	1～3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。

なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2025年3月卒業予定者はプログラムには参加することができるが、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧〔ガイド・資料編〕ーグローバル教育センター〔海外短期研修〕の項を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院)との3+2プログラム単位互換科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 C群			ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院（以下GI）の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

(注2) GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。

(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認すること。

国際関係法学科

国際関係法学科

📄 国際関係法学科について

📄 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

📄 2. 標準配当表

📄 3. 開講科目担当表

国際関係法学科について

〔教育研究上の目的〕

法学・政治学を基礎とした国際関係の分析力とともに、国際舞台で不可欠な語学力や幅広い教養を身につけさせること

〔人材養成の目的〕

国連職員や外交官、その他一般企業において国際性ある職域をめざす者、国際的、渉外的な法律実務を考える者、さらに活発化する国際学術交流に貢献する研究者を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、人権の普遍性及び各国主権の平等並びに地域多様性を尊重する国際社会の構築に向けて、次のような能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 国際社会の諸問題に対して幅広い関心を持ち、それらを考察するうえで必要な知識を自力で探査・獲得する能力
2. 国際社会の諸問題について法的及び政治学的思考力を基礎として分析する能力
3. 世界における各地域の特殊性を理解し、異なる法文化及び政治文化を背景とした諸々の規範に適應する能力
4. 国際的な舞台で、最先端の法的及び政治学的知識を活用しながらみずからの考えを的確に伝達する能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 法学及び政治学のリテラシーを身につけ、与えられた問題を法的及び政治学的に設定し考察するための基礎的な方法論を修得させる。
2. 国際社会の諸問題を考察するうえで足がかりとなる国内法及び国内政治の理論並びに国際関係法及び国際政治学の理論を体系的に学習させ、理解を深める。
3. 少人数の演習形式の授業の中で、身につけた理論と方法を国際社会の具体的な問題に応用し、その解決に向けた提言を模索する。
4. 各自の問題意識に基づいて設定した課題に係る研究の成果を、国際的な舞台で発信できる力を養成する。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降（合計127単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 97単位

- ・ 必修 25単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 44単位

19～21年次生（合計127単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 97単位

- ・ 必修 25単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 44単位

18年次生以前（合計127単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 97単位

- 必修 27単位
- 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位を含む）
- 選択 42単位

2. 標準配当表

[国際関係法学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
課題・視座・立場性を考える		2						
選択必修 (6単位)		キリスト教人間学	2					
選択 (12単位)					高学年向け科目		4	
		※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される						

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	必修 (25単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2		必修演習A(注2)	2	
		導入演習	1	債権法各論I	2			必修演習B(注2)	2
		英語導入演習	1	債権法各論II	2				
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4					
民法総則I		2							
民法総則II	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (44単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、[学部科目編]一語学科目の項を参照。

(注2) 法曹コース生は3年次で必修演習A・B(法曹コース)を履修登録すること。

[国際関係法学科] 標準配当表

19～21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
	選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4					
	選択 (20単位)	* 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる (注1)						2
				高学年向け教養科目				2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位)	ACADEMIC COMMUNICATION1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語 (注1)						8	
	必修 (25単位)	法学入門	1	憲法 (統治機構)	2			必修演習A (注2)	2
		導入演習	1	債権法各論 I	2			必修演習B (注2)	2
		英語導入演習	1	債権法各論 II	2				
憲法 (基本的人権)		4	国際法総論	4					
民法総則 I		2							
民法総則 II	2								
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
選択 (44単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、[学部科目編] 一語学科目の項を参照。

(注2) 法曹コース生は3年次で必修演習A・B (法曹コース) を履修登録すること。

〔国際関係法学科〕標準配当表

18年次生以前

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (2単位)	ウエルネスと身体	2					
		選択必修 (4単位)	キリスト教人間学	4				
	選択 (20単位)	* 学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)は4単位まで卒業単位に充当できる(注2) * 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1)						高学年向け教養科目

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1 ACADEMIC COMMUNICATION2	2 2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (97単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
	必修 (27単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2		必修演習III	3
		導入演習	1	債権法各論I	2		必修演習IV	3
		英語導入演習	1	債権法各論II	2			
憲法(基本的人権)		4	国際法総論	4				
民法総則I		2						
民法総則II	2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学学科の履修方法については、[学部科目編]一語学科目の項を参照。

(注2) 18年次生は学全科目はなし。

3. 開講科目担当表

3. 開講科目担当表 語学科目(選択必修科目)・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1~4		履修については〔学部科目編〕一語学科目の項を参照

学科学目A群(必修科目)・・・19年次生以降 25単位 18年次生以前 27単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目	学科学目A群	330009	LAW102-30J00 法学入門	1	1Q	梅村 悠	1		(注1)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関1クラスA】	1	春	森下 哲朗	1		(注1) (注2)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関1クラスB】	1	春	森下 哲朗	1		(注1) (注2)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関2クラスA】	1	春	岡部 みどり	1		(注1) (注2)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関2クラスB】	1	春	岡部 みどり	1		(注1) (注2)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関3クラスA】	1	春	堀口 健夫	1		(注1) (注2)
		330010	LAW101-30J00 導入演習【国関3クラスB】	1	春	堀口 健夫	1		(注1) (注2)
		330011	LAW103-30m00 英語導入演習【国関Aクラス(E)】	1	秋	*楠 茂樹 TREHEARNE A. D. COLIN	1	○	(注1) (注2)
		330011	LAW103-30m00 英語導入演習【国関Bクラス(E)】	1	秋	*楠 茂樹 TREHEARNE A. D. COLIN	1	○	(注1) (注2)
		330011	LAW103-30m00 英語導入演習【国関Cクラス(M)】	1	秋	東 史彦	1		(注1) (注2) (M)
		330011	LAW103-30m00 英語導入演習【国関Dクラス(M)】	1	秋	東 史彦	1		(注1) (注2) (M)
		330140	PBL201-30J00 憲法(基本的人権)	4	秋	巻 美矢紀	1		
		330161	PBL204-30J00 憲法(統治機構)	2	秋	上田 健介	2		
		330007	CVL205-30J00 民法総則I(自然人、物、法律行為)【国関・環境】	2	春	善塔 章夫	1		法律学科履修不可
		330008	CVL206-30J00 民法総則II(代理、法人、期間、時効)【国関・環境】	2	秋	宮澤 俊昭	1		法律学科履修不可
		330313	CVL201-30J00 債権法各論I(契約)	2	春	白石 友行	2		1年次生履修不可
		330314	CVL207-30J00 債権法各論II(事務管理、不当利得、不法行為)	2	秋	宮澤 俊昭	2		1年次生履修不可
		332910	INL201-30J00 国際法総論	4	春	石井 由梨佳	2		
		347003	LAW401-30J00 必修演習III	3	春	各教員	4		(注1) (注3) 「4. 演習について」および履修上の注意を参照、18年次生以前対象
		347004	LAW404-30J00 必修演習IV	3	秋	各教員	4		(注1) (注3) 「4. 演習について」および履修上の注意を参照、18年次生以前対象
		347007	LAW408-30J00 必修演習A	2	春	各教員	4 (・3)		(注1) 「4. 演習について」および履修上の注意を参照、19年次生以降対象
		347008	LAW409-30J00 必修演習B	2	秋	各教員	4 (・3)		(注1) 「4. 演習について」および履修上の注意を参照、19年次生以降対象
		347007	LAW408-30J00 必修演習A(法曹コース)	2	春	土田 亮 穴戸 博幸・他	3 (・4)		(注1) 法曹コース生対象
		347008	LAW409-30J00 必修演習B(法曹コース)	2	秋	土田 亮 穴戸 博幸・他	3 (・4)		(注1) 法曹コース生対象

学科学目B群(選択必修科目)・・・20単位 選択必修科目(B群)については、卒業に必要な20単位を超過して修得した単位は選択科目(C群)に算入される。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目	学科学目B群	333000	JUR302-30J00 法哲学	4	春	奥田 純一郎	3・4		
		336311	INL202-30J00 国際法各論	2	秋	堀口 健夫	2		
		336405	INL301-30J00 国際紛争処理法	2	秋	石井 由梨佳	3・4		
		336204	PIL314-30J00 国際私法I	2	春	村上 愛	3・4		
		336205	PIL315-30J00 国際私法II	2	秋	村上 愛	3・4		
		333308	PIL309-30e00 PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	村上 愛	3・4	○	(注1) (注3) 固
		333309	PIL310-30e00 PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	村上 愛	3・4	○	(注1) (注3) 固
		361601	PIL311-30J00 国際取引法総論	2	春	森下 哲朗	3・4		(注3)
		361602	PIL312-30J00 国際取引法各論	2	休講		3・4		(注3)
		333415	JUR313-30J00 英米法I	2	春	*倉沢 恒	3・4		[150名] 国際関係法学科3・4年次生優先、法律学科3・4年次生および地球環境法学科3・4年次生優先 (注3)
		333416	JUR314-30J00 英米法II	2	休講		3・4		(注3)
		333513	JUR309-30J00 ドイツ法I a	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
		333514	JUR310-30J00 ドイツ法I b	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
		333512	JUR304-30J00 ドイツ法II	2	秋	松本 尚子	3・4		(注3)
		333613	JUR315-30J00 フランス法	2	春	*小川 有希子	3・4		隔年開講 (注3)
		339402	PBL304-30J00 比較憲法I	2	春	上田 健介	3・4		隔年開講 [100名]
		336602	JUR202-30J00 比較法I	2	春	東 史彦	3・4		隔年開講 (注3)
		336603	JUR201-30J00 比較法II	2	休講		3・4		隔年開講 (注3)
		366410	INL310-30e00 EUROPEAN UNION LAW I	2	秋	東 史彦	3・4	○	隔年開講 (注3) 固
		366420	INL311-30e00 EUROPEAN UNION LAW II	2	休講		3・4	○	隔年開講 (注3) 固
		341001	ENL307-30J00 国際環境法	2	春	堀口 健夫	3・4		
		340100	INL302-30J00 国際経済法	4	春	川瀬 剛志	2~4		1年次生履修不可
		335811	SCL302-30J00 知的財産権法I	4	休講		3・4		隔年開講
		335813	SCL303-30J00 知的財産権法II	2	休講		3・4		隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先、法学部生優先、1年次生履修不可 (注3)
		390310	INL306-30m00 INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先、(注1) (M) 固
		390311	INL307-30m00 INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤 淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先、(注1) (M) 固
		333307	POL308-30e00 INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	休講		3・4	○	[40名] 固
		338001	POL202-30J00 国際政治学	4	春	岡部 みどり	2		[250名] 国際関係法学科2年次生以上優先、法学部生優先
		333181	POL201-30J00 政治学	4	春	加藤 浩三	2		[110名] 法学部2年次生優先、国際関係法学科生・地球環境法学科生優先
		337502	POL204-30J00 現代日本政治論	2	秋	三浦 まり	2		[190名] 法学部2年次生以上優先
		337503	POL304-30e00 JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦 まり	3・4	○	固「現代日本政治論」を履修済みであることが望ましい。
		390350	PIL304-30e00 CORPORATIONS	2	休講		2~4	○	固

390384	P1L205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	休講		2~4	○	否
390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	休講		2~4	○	否

学科科目C群(選択科目)・・・19年次生以降 44単位
18年次生以前 42単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目C群	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(憲法)	2	秋	巻 美矢紀	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(刑法)	2	秋	佐藤 結美	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(経済法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(行政法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(民事訴訟法)	2	春	安西 明子	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(国際取引法)	2	秋	森下 哲朗	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30J00	基礎演習A(環境法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330015	LAW305-30J00	基礎演習B(民法)	2	秋	羽生 香織	2・3		法曹コース生優先(注1)(注4)
	330016	LAW306-30J00	基礎演習B(商法)	2	秋	深澤 泰弘	2・3		法曹コース生優先(注1)(注4) 会社法Iを履修済みであることが望ましい
	333950	LAW304-30J00	法解釈演習	2	春	穴戸 博幸 越智 敏裕 対木 和夫 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	2		輪講、法曹コース生優先(注1)(注4)
	347009	LAW407-30J00	応用演習	2	秋	深澤 泰弘、他	2・3		輪講、法曹コース生優先(注1)(注4)
	347005	LAW405-30J00	選択演習A	2	春	各教員	3・4		(注1)
	347006	LAW406-30J00	選択演習B	2	秋	各教員	3・4		(注1)
	333900	LAW105-30J00	法解釈基礎	2	秋	佐藤 結美	1		1年次生のみ履修可
	330012	LAW104-30J00	現代社会と法律実務	1	2Q	コーディネータ 森下 哲朗 穴戸 博幸 対木 和夫 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	1		輪講(注1)
	337011	JUR303-30J00	西洋法制史	2	春	松本 尚子	3・4		
	337101	CRL303-30J00	法医学	2	秋	*黒崎 久仁彦	2~4		[150名] 法学部生優先
	337102	LAW301-30J00	医療と法	2	秋	コーディネータ 奥田 純一郎 佐藤 結美 永野 仁美 永下 泰之	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生、看護学科生優先
	330171	PBL306-30J00	憲法訴訟	2	休講		3・4		隔年開講
	332010	PBL202-30J00	行政法総論	4	春	大橋 真由美	2		[230名] 法曹コース生優先、地球環境法学科生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	335202	PBL301-30J00	租税法	2	秋	*伊藤 剛志	3・4		隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	335250	PBL302-30J00	地方自治法	2	休講		3・4		隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	332801	SCL306-30J00	労働法I	2	1Q	富永 晃一	3・4		(注3) [105名] 法学部生優先
	332802	SCL307-30J00	労働法II	2	2Q	富永 晃一	3・4		(注3) [105名] 法学部生優先
	336021	SCL305-30J00	社会保険法I	2	春	水野 仁美	3・4		(注3)
	336022	SCL308-30J00	社会保険法II	2	秋	水野 仁美	3・4		(注3)
	335110	PBL203-30J00	行政救済法	4	秋	小舟 賢	2・3		[150名] 法曹コース生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	311200	CVL303-30J00	消費者法	2	秋	善塔 章夫	3・4		隔年開講、1・2年次生履修不可
	332405	CML303-30J00	会社法I	4	春	深澤 泰弘	3・4		[150名] 法曹コース生優先、法学部3・4年次生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	332406	CML304-30J00	会社法II	4	秋	梅村 悠	3・4		
	356104	CML308-30J00	手形・小切手法	2	春	土田 亮	3・4		
	335305	CML305-30J00	商取引法	2	秋	深澤 泰弘	3・4		
	335401	CML306-30J00	保険法	2	秋	梅村 悠	3・4		[150名] 法学部3・4年次生優先、法学部生優先
	335503	CML307-30J00	海商法	2	秋	*清水 太郎	3・4		隔年開講
	332133	CVL204-30J00	物権法	2	春	善塔 章夫	2		1年次生履修不可
	332102	CVL203-30J00	担保物権法	2	秋	小山 泰史	2		1年次生履修不可
	330335	CVL208-30J00	債権法総論I(債務不履行、半済、責任財産の保全)	2	春	小山 泰史	2		1年次生履修不可(注3)
	330336	CVL209-30J00	債権法総論II(債権譲渡、相殺、多数当事者の債権債務関係)	2	秋	善塔 章夫	2		1年次生履修不可(注3)
	332503	CPL302-30J00	民事訴訟法I	4	春	安西 明子	3・4		
	335604	CPL303-30J00	民事訴訟法II	2	秋	田頭 章一	3・4		(注1)
	332203	CVL301-30J00	親族法	2	春	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
	332303	CVL302-30J00	相続法	2	秋	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
	335627	CPL301-30J00	民事執行・保全法	2	秋	安西 明子	3・4		
	336910	CPL304-30J00	倒産処理法	2	春	田頭 章一	3・4		
330501	CRL201-30J00	刑法総論	4	春	伊藤 渉	2			
332680	CRL202-30J00	刑法各論	4	秋	照沼 亮介	2		[80名] 法曹コース生優先、法律学科2年次生以上優先、法学部生優先	
332703	CRL302-30J00	刑事訴訟法	4	秋	岩下 雅亮	3・4		1年次生履修不可	
335703	CRL203-30J00	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光旭	2・3			
333520	CRL304-30J00	経済刑法	2	秋	*足立 友子	3・4		隔年開講 [150名]	
339102	SCL301-30J00	経済法	4	休講		3・4		[150名] 法学部3・4年次生優先	
335814	SCL311-30J00	知的財産権法III	2	秋	駒田 泰士	3・4			
333800	PIL303-30J00	アジア法	2	秋	森口 聡	3・4		[190名] 法学部生優先	
345015	INL303-30J00	国際組織法	2	休講		3・4		隔年開講(注3)	
390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE I	2	春	*WOLFF Leon	2~4	○	否	
390387	JUR206-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE II	2	秋	*WOLFF Leon	2~4	○	否	
333303	POL203-30J00	比較政治論	2	春	*網谷 龍介	3・4			
337505	POL206-30J00	時政政治論	2	休講		1・2		[20名] 隔年開講、法学部1・2年次生優先(注1)	
333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*NORTHY Jake	3・4	○	否	
337501	POL303-30J00	現代行政学	2	休講		3・4		[80名] 1年次生履修不可	
310402	POL301-30J00	規則と政治	2	春	*古屋 将太	3・4		[100名]	

310201	ENL202-30J00	環境法入門	2	春	コーディネータ 越智 敏裕 桑原 勇進 大橋 真由美 堀口 健夫 梅村 悠 北村 喜宣	1	輪講 [200名] 地球環境法学科生優先
341301	ENL204-30J00	環境法総論	2	秋	越智 敏裕	1	[250名] 地球環境法学科生優先
310701	ENL203-30J00	環境法各論	2	春	北村 喜宣	2	1年次生履修不可 (注1)
341103	ENL206-30J00	環境訴訟法 I	2	休講		2	隔年開講 (注3)
341104	ENL205-30J00	環境訴訟法 II	2	春	越智 敏裕	2	隔年開講 (注3)
311102	ENL207-30J00	エネルギーと法	2	春	*丸山 真弘	2	(注3)
311001	ENL304-30J00	自治体環境法	2	休講		3・4	[100名] 地球環境法学科生優先 (注1)
341501	ENL306-30J00	廃棄物・リサイクル法	2	休講		3・4	[150名] 地球環境法学科3・4年次生優先、 法学部3・4年次生優先、法学部生優先
341400	ENL302-30J00	企業環境法	2	休講		3・4	
311800	ENL301-30J00	企業環境マネジメント論	2	春	*科野 宏典・他	3・4	輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先
310800	ENL303-30J00	自然保護法	2	春	桑原 勇進	3・4	[100名] 地球環境法学科生優先
341722	ENL310-30J00	まちづくりと法	2	秋	越智 敏裕	3・4	隔年開講 [500名] 法学部生優先
341600	ENL201-30J00	比較環境法	2	秋	桑原 勇進	2	
341720	ENL208-30J00	環境社会学	2	春	*野田 岳仁	2	[160名]
310900	ENL308-30J00	ヨーロッパ環境法	2	休講		3・4	隔年開講
311901	ENL311-30J00	アメリカ環境法	2	秋	筑紫 圭一	3・4	
312200	ENL305-30J00	アジア環境法	2	休講		3・4	隔年開講
312100	ENL312-30J00	地球温暖化と法	2	秋	堀口 健夫	3・4	隔年開講
311700	CRL301-30J00	環境刑法	2	休講		3・4	隔年開講
342904	PBL305-30J00	法律学特殊講義 I (立法過程の実務と理論)	2	春	*梶山 知唯	3・4	
342914	CML301-30J00	法律学特殊講義 II (信託法)	2	秋	*中山 裕人	3・4	
342924	JUR205-30J00	法律学特殊講義 III (法思想史)	2	秋	奥田 純一郎	1・2	
342941	CML302-30J00	法律学特殊講義 IV (金融商品取引法)	2	休講		3・4	隔年開講
342952	PBL307-30J00	法律学特殊講義 V (公法)	2	春	小舟 賢	2~4	隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
345027	INL304-30J00	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*長谷部 潤	3・4	[30名] 法学部3・4年次生優先 (注3)
338010	POL307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	○ 函
390400	POL306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*IONESCU Magdalena	3・4	○ 函
344808	POL302-30J00	国際関係特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*梅 志輝	3・4	[200名] 法学部3・4年次生優先
311300	ENL309-30J00	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	休講			輪講 隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先
311427	ENL313-30J00	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	春	*安達 宏之	3・4	隔年開講
364010	CVL304-30J00	民法特殊講義 I	2	秋	宮澤 俊昭	3・4	[100名] 1・2年次生履修不可 法学部生優先
364020	CVL305-30J00	民法特殊講義 II	2	休講		3・4	[100名] 1・2年次生履修不可 法学部生優先
364210	CRI204-30J00	刑法特殊講義 I	2	春	照沼 亮介	1	
364220	CRI205-30J00	刑法特殊講義 II	2	春	伊藤 渉	2・3	
364230	CRI206-30J00	刑法特殊講義 III	2	秋	佐藤 結美	2	
335710	CRI207-30J00	刑事司法概論	2	秋	岩下 雅夫	2	[100名] 法学部2年次生優先、法学部生優先
341730	ENL101-30J00	時事環境法政策演習	2	秋	桑原 勇進	1	[20名] 法学部1年次生のみ履修可、地球環境法学科生優先 (注1)
348010	CML401-30J00	高度専門演習 I (企業法の変容)	2	春	深澤 泰弘	3・4	[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348020	CML402-30J00	高度専門演習 II (企業法とサステナビリティ)	2	春	梅村 悠	3・4	[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348030	POL401-30J00	高度専門演習 III (政治経済学)	2	秋	加藤 浩三	3・4	[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348040	JUR401-30J00	高度専門演習 IV (生命倫理と法)	2	秋	奥田 純一郎	3・4	[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
320000	LAW206-30J00	法実務入門	2	春	土田 亮	2	[25名] 法曹コース優先 (注1)
337504	POL205-30J00	現代国際関係論	2	春	岡部 みどり	1・2	[30名] 法学部2年次生優先 (注1)
333200	LAW207-30J00	文化芸術と法	2	休講		1~4	隔年開講 [800名] 法学部生優先
333310	LAW208-30m00	READINGS IN LAW	2	休講		2	(M) 函
330017	LAW204-30m00	BASIC SEMINAR (AQUILA)	2	春	東 史彦 *DOERING Henri	2	輪講 [30名] 法学部2年次生のみ履修可、 コースAQUILA登録者優先、(M) 函 (注1)
349010	LAW410-30m00	SPECIALIZED SEMINAR I (LEGAL HISTORY)	2	休講		3・4	隔年開講 [30名] 1・2年次生履修不可、 コースAQUILA登録者優先、(M) 函
349020	LAW411-30m00	SPECIALIZED SEMINAR II (FOREIGN LAW)	2	秋	松本 尚子	3・4	隔年開講 [30名] 1・2年次生履修不可、 コースAQUILA登録者優先、(M) 函
349030	LAW412-30e00	SPECIALIZED SEMINAR III (AQUILA)	2	春	TREHARNE A. D. COLIN	3・4	○ [30名] 1・2年次生履修不可、 コースAQUILA登録者優先 函
349040	LAW413-30e00	SPECIALIZED SEMINAR IV (AQUILA)	2	秋	*DOERING Henri	3・4	○ [30名] 1・2年次生履修不可、 コースAQUILA登録者優先 函
380002	JUR316-30J00	法と経済学	2	春	*加賀見 一彰	3 (・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3 年次生対象 (注1) (注5)
380003	JUR317-30J00	法社会学	2	秋	*太田 勝造	3 (・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3 年次生対象 (注1) (注5)
380001	SCL309-30J00	スポーツ・エンタテインメント法	1	春集中	森下 哲朗・他	3 (・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3 年次生対象 (注1) (注5)
380004	SCL310-30J00	金融法	2	秋	深澤 泰弘・他	3 (・4)	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3 年次生対象 (注1) (注5)
380005	PIL313-30e00	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	1	秋集中	森下 哲朗・他	3 (・4)	○ 法科大学院との共同開講科目、法曹コース3 年次生対象 (注1) (注5)

函 … コースAQUILA認定対象科目

(M) … 教材や授業中の使用言語のいずれかが、英語以外の言語 (日本語など) で行われる。

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 履修登録するクラスはMy Sophiaで周知するので確認すること。

(注3) 科目名の変更にもなう重複不可の科目があるため、「2.履修上の注意」を参照のこと。

(注4) 法曹コース生以外の希望者は「11. 法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B (法曹コース) について」の項を参照。

(注5) 法曹コース4年生 (早期卒業しない法曹コース登録生) 履修可。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単 位	期 開 講	担当者	年次	語 外 国	備考
選択必修 科目	学科科目 B群	N99219	SAC201-30e00 海外短期研修（西オーストラリア大学）	4	秋	国際関係法学科教員	1～3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。

なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2025年3月卒業予定者はプログラムには参加することができず、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧〔ガイド・資料編〕ーグローバル教育センター〔海外短期研修〕の項を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies(ジュネーブ国際・開発研究大学院)との3+2プログラム単位互換科目

履修度	授業科目	単 位	期 開 講	担当者	年次	語 外 国	備考
選択科目 学科科目 C群	ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○	(注1) (注2) (注3)


(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院（以下GI）の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。


(注2) GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。


(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認すること。


地球環境法学科

地球環境法学科

 地球環境法学科について

 1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

 2. 標準配当表

 3. 開講科目担当表

地球環境法学科について

〔教育研究上の目的〕

環境問題にかかわる世界と日本の法システムに関する素養を身につけ、環境問題を法的観点から総合的・多角的に検討する能力を養うこと

〔人材養成の目的〕

環境法研究者、企業活動に係る環境法のエキスパート、環境法の知見を有する実務家や環境N G Oで活躍しうる人材、環境法の専門家として母国で活躍できる人材を養成すること

〔ディプロマ・ポリシー〕

本学科は、地球環境に配慮した持続可能な社会の実現に向けて、次のような資質・能力を修得した人材の養成を目的として、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。卒業要件を満たせば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 法的な観点から環境問題を検討するため、日本の法制度に関する基本的な素養と問題解決のための思考枠組を修得し、現実の環境問題にそれを応用する能力
2. 個別の環境問題について発展しつつある日本の法制度の特徴を理解し、それぞれの問題領域の特殊性もふまえながら、適切な問題解決のあり方について考える能力
3. 環境問題に関する外国や国際社会の法制度を学び、よりグローバルな視野から問題を考える能力
4. 法学に限定されない学際的な視野から、環境問題の解決に資する今後の政策のあり方を考える能力

〔カリキュラム・ポリシー〕

本学科は、ディプロマ・ポリシーに沿って、次のようにカリキュラムを編成しています。

1. 日本法に対する素養や思考枠組を養うため、憲法、民法といった法律基本科目について、特に基本的な講義を必修科目として提供するとともに、学生のニーズに応じて選択可能な講義を幅広く配置する。
2. 法学の知見や思考枠組を様々な環境問題に応用して考える力を養うため、日本の環境法に関わる基本的な講義を必修科目として提供するとともに、個別の環境法制度に関わる講義等を選択必修科目・選択科目として配置する。
3. 国際的な視野から発展的に問題を考える力を養うため、外国や国際社会における環境法等に関わる講義を選択必修科目・選択科目として配置する。
4. 適切な環境法政策のあり方をさらに学際的に考えるための視点を養うため、政治学、社会学等の隣接科目に関わる講義を、選択必修科目・選択科目として配置する。

5. 関連科目の理解を深めると同時に、討論・論述等の能力の向上を図り、現実の問題解決に資する思考力と発信力を養うため、1年次の導入的な科目として、また4年次の必修科目（3年次も履修可）として、少人数の演習を配置する。

1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

22年次生以降（合計126単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 8単位 [キリスト教人間学、身体知、思考と表現、データサイエンス、課題認識]
- ・ 選択必修 6単位 [キリスト教人間学2単位、高学年向け科目4単位]
- ・ 選択 12単位

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 96単位

- ・ 必修 26単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 42単位

19～21年次生（合計126単位）

全学共通科目 26単位

- ・ 必修 2単位 [ウェルネスと身体2単位]
- ・ 選択必修 4単位 [キリスト教人間学]
- ・ 選択 20単位（高学年向け教養科目2単位含む）

語学科目 4単位

- ・ 必修英語 4単位

学科科目 96単位

- ・ 必修 26単位
- ・ 選択必修 28単位（語学科目選択必修8単位含む）
- ・ 選択 42単位

2. 標準配当表

[地球環境法学科] 標準配当表

22年次生以降

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	必修 (8単位)	キリスト教人間学「他のために、他者とともに」	1					
		身体のリハビリアート	1					
		思考と表現	2					
データサイエンス概論		2						
選択必修 (6単位)	課題・視座・立場性を考える	2	キリスト教人間学	2	高学年向け科目			4
	選択 (12単位)	※ 1年次は各学期4単位まで履修できる ※ 語学科目は8単位まで卒業単位に充当できる(注1) ※ 選択必修区分で6単位を超過して修得した単位は選択区分に算入される						

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 (4単位) 英語	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
学科科目 (96単位)	選択必修 (8単位)	英語以外の指定された同一言語(注1)						8
		必修 (26単位)	法学入門	1	憲法(統治機構)	2	必修演習A(注2) 必修演習B(注2)	
	導入演習		1	行政法総論	4	2		
	憲法(基本的人権)		4	環境法各論	2			
民法総則I	2							
民法総則II	2							
環境法入門	2							
環境法総論	2							
選択必修 (20単位)	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群	
選択 (42単位)	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群	

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、[学部科目編] - 語学科目の項を参照。

(注2) 法曹コース生は3年次で必修演習 A・B(法曹コース)を履修登録すること。

[地球環境法学科] 標準配当表

19~21年次生

○ 全学共通科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
全学共通科目 (26単位)	(2単位) 必修	ウエルネスと身体	2					
	(4単位) 選択必修	キリスト教人間学	4					
	(20単位) 選択	* 語学科目は8単位まで卒業単位の充当できる(注1)						2
					高学年向け教養科目			2

○ 語学科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
語学科目 (4単位)	必修 [英語]	ACADEMIC COMMUNICATION1	2					
		ACADEMIC COMMUNICATION2	2					

○ 学科科目

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
学科科目 (96単位)	(8単位) 選択必修 語学科目	英語以外の指定された同一言語(注1)						8	
	(26単位) 必修	法学入門	1	憲法(統治機構)	2			必修演習A(注2)	2
		導入演習	1	行政法総論	4			必修演習B(注2)	2
		憲法(基本的人権)	4	環境法各論	2				
民法総則I		2							
民法総則II		2							
環境法入門		2							
環境法総論	2								
(20単位) 選択必修	学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		学科科目B群		
(42単位) 選択	学科科目C群		学科科目C群		学科科目C群 (選択演習など)		学科科目C群		

(注1) 学科毎の指定言語および語学科目の履修方法については、[学部科目編]—語学科目の項を参照。
 (注2) 法曹コース生は3年次で必修演習 A・B(法曹コース)を履修登録すること。

3. 開講科目担当表

4. 開講科目担当表 語学科目(選択必修科目)・・・8単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修			英語以外の同一言語	8			1~4		履修については「学教科目編」—語学科目の項を参照

学教科目A群(必修科目)・・・19年次生以降 26単位

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
必修科目 学教科目A群	330009	LAW102-30100	法学入門	1	1Q	梅村 悠	1		(注1)
	330010	LAW101-30100	導入演習【環境1クラスA】	1	春	桑原 勇進	1		(注1)(注2)
	330010	LAW101-30100	導入演習【環境1クラスB】	1	春	桑原 勇進	1		(注1)(注2)
	330010	LAW101-30100	導入演習【環境2クラスA】	1	春	阿部 和文	1		(注1)(注2)
	330019	LAW101-30100	導入演習【環境2クラスB】	1	春	阿部 和文	1		(注1)(注2)
	330140	PBI201-30100	憲法(基本的人権)	4	秋	滝 英次郎	1		(注1)(注2)
	330161	PBI204-30100	憲法(統治機構)	2	秋	上田 健介	2		
	332010	PBI202-30100	行政法総論	4	春	大橋 真由美	2		[230名]法曹コース生優先、地球環境法学科生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	330007	CVL205-30100	民法総則Ⅰ(自然人、物、法律行為)【国関・環境】	2	春	藤塔 章夫	1		法律学科生履修不可
	330008	CVL206-30100	民法総則Ⅱ(代理、法人、期間、時効)【国関・環境】	2	秋	宮澤 俊昭	1		法律学科生履修不可
	310201	ENL202-30100	環境法入門	2	春	コーディネーター 藤智 敏裕 桑原 勇進 大橋 真由美 堀口 健夫 梅村 悠 北村 嘉宜	1		輪講【200名】地球環境法学科生優先
	341301	ENL204-30100	環境法総論	2	秋	藤智 敏裕	1		[250名]地球環境法学科生優先
	310701	ENL203-30100	環境法各論	2	春	北村 嘉宜	2		1年次生履修不可(注1)
	347007	LAW408-30100	必修演習A	2	春	各教員	4(・3)		(注1)「4.演習について」および履修上の注意を参照
	347008	LAW409-30100	必修演習B	2	秋	各教員	4(・3)		(注1)「4.演習について」および履修上の注意を参照
	347007	LAW408-30100	必修演習A(法曹コース)	2	春	土田 亮 穴戸 博幸・他	3(・4)		(注1)法曹コース生対象
	347008	LAW409-30100	必修演習B(法曹コース)	2	秋	土田 亮 穴戸 博幸・他	3(・4)		(注1)法曹コース生対象

学教科目B群(選択必修科目)・・・20単位 選択必修科目(B群)については、卒業に必要な20単位を超過して修得した単位は選択科目(C群)に算入される。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択必修科目 学教科目B群	333000	JUR302-30100	法哲学	4	春	奥田 純一郎	3・4		
	335110	PBI203-30100	行政教済法	4	秋	小舟 賢	2・3		[150名]法曹コース生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	330313	CVL201-30100	債権法各論Ⅰ(契約)	2	春	白石 友行	2		1年次生履修不可
	330314	CVL207-30100	債権法各論Ⅱ(事務管理、不当利得、不法行為)	2	秋	宮澤 俊昭	2		1年次生履修不可
	341103	ENL206-30100	環境訴訟法Ⅰ	2	休講		2		隔年開講(注3)
	341104	ENL205-30100	環境訴訟法Ⅱ	2	春	藤智 敏裕	2		隔年開講(注3)
	311102	ENL207-30100	エネルギーと法	2	春	*丸山 真弘	2		(注3)
	311001	ENL304-30100	自治体環境法	2	休講		3・4		[100名]地球環境法学科生優先(注1)
	341501	ENL306-30100	廃棄物・リサイクル法	2	休講		3・4		[150名]地球環境法学科3・4年次生優先、法学部3・4年次生優先、法学部生優先
	341400	ENL302-30100	企業環境法	2	休講		3・4		
	310800	ENL303-30100	自然保護法	2	春	桑原 勇進	3・4		[100名]地球環境法学科生優先
	341722	ENL310-30100	まちづくりと法	2	秋	藤智 敏裕	3・4		隔年開講 [500名] 法学部生優先
	341600	ENL201-30100	比較環境法	2	秋	桑原 勇進	2		
	341720	ENL208-30100	環境社会学	2	春	*野田 岳仁	2		[160名]
	341001	ENL307-30100	国際環境法	2	春	堀口 健夫	3・4		
	310900	ENL308-30100	ヨーロッパ環境法	2	休講		3・4		隔年開講
	311901	ENL311-30100	アメリカ環境法	2	休講		3・4		隔年開講
	312200	ENL305-30100	アジア環境法	2	休講	筑紫 圭一	3・4		隔年開講
	312100	ENL312-30100	地球温暖化と法	2	秋	堀口 健夫	3・4		隔年開講
	311700	ENL301-30100	環境刑法	2	休講		3・4		隔年開講
	335520	CRI304-30100	経済刑法	2	秋	*足立 友子	3・4		隔年開講 [150名]
	337501	POL303-30100	現代行政学	2	秋	三浦 まり	3・4		[80名]1年次生履修不可
	337502	POL204-30100	現代日本政治論	2	秋	三浦 まり	2		[190名]法学部2年次生以上優先
	310402	POL301-30100	規制と政治	2	春	*古屋 将太	3・4		[100名]
	333181	POL201-30100	政治学	4	春	加藤 浩三	2		[110名]法学部2年次生優先、国際関係法学科生・地球環境法学科生優先
	338001	POL202-30100	国際政治学	4	春	岡部 みどり	2		[250名]国際関係法学科2年次生以上優先、法学部生優先

学科科目C群(選択科目)・・・19年次生以降 42単位
18年次生以前 40単位

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目C群	330014	LAW205-30100	基礎演習A(憲法)	2	秋	森 美矢起	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30100	基礎演習A(民法)	2	秋	佐藤 結美	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30100	基礎演習A(行政法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30100	基礎演習A(民事訴訟法)	2	春	安西 明子	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30100	基礎演習A(国際取引法)	2	秋	森下 哲朗	2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330014	LAW205-30100	基礎演習A(環境法)	2	休講		2		[20名] 法学部2年次生のみ履修可(注1)
	330015	LAW305-30100	基礎演習B(民法)	2	秋	羽生 香織	2・3		法曹コース生優先(注1) (注4)
	330016	LAW306-30100	基礎演習B(商法)	2	秋	深澤 泰弘	2・3		法曹コース生優先(注1) (注4) 会社法Iを履修済みであることが望ましい
	333950	LAW304-30100	法解釈演習	2	春	次戸 博幸 越智 敏裕 対木 朝山 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	2		輪講、法曹コース生優先(注1) (注4)
	347009	LAW407-30100	応用演習	2	秋	深澤 泰弘、他	2・3		輪講、法曹コース生優先(注1) (注4)
	347005	LAW405-30100	選択演習A	2	春	各教員	3・4		(注1)
	347006	LAW406-30100	選択演習B	2	秋	各教員	3・4		(注1)
	333900	LAW105-30100	法解釈基礎	2	秋	佐藤 結美	1		1年次生のみ履修可
	330012	LAW104-30100	現代社会と法律実務	1	2Q	森下 哲朗 次戸 博幸 対木 朝山 朝山 芳史 小林 俊彦 角田 雄彦	1		輪講(注1)
	339402	PBL304-30100	比較憲法I	2	春	上田 健介	3・4		隔年開講 [100名]
	336602	JUR202-30100	比較法I	2	春	廣 史彦	3・4		隔年開講(注3)
	336603	JUR201-30100	比較法II	2	休講		3・4		隔年開講(注3)
	333415	JUR313-30100	英米法I	2	春	*会沢 恒	3・4		[150名] 国際関係法学科3・4年次生優先、法律学科3・4年次生および地球環境法学科3・4年次生優先(注3)
	333416	JUR314-30100	英米法II	2	休講		3・4		(注3)
	333513	JUR309-30100	ドイツ法I a	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
	333514	JUR310-30100	ドイツ法I b	1	3Q	松本 尚子	3・4		(注3)
	333512	JUR304-30100	ドイツ法II	2	秋	松本 尚子	3・4		(注3)
	333613	JUR315-30100	フランス法	2	春	*小川 有希子	3・4		隔年開講(注3)
	366410	INL310-30e00	EUROPEAN UNION LAW I	2	秋	東 史彦	3・4		隔年開講(注3) 因
	366420	INL311-30e00	EUROPEAN UNION LAW II	2	休講		3・4		隔年開講(注3) 因
	333800	PIL303-30100	アジア法	2	秋	*森口 聡	3・4		[190名] 法学部生優先
	337011	JUR303-30100	西洋法制史	2	春	松本 尚子	3・4		
	337101	CRL303-30100	法医学	2	秋	*黒崎 久仁彦	2~4		[150名] 法学部生優先
	337102	LAW301-30100	医療と法	2	秋	奥田 純一郎 佐藤 結美 永野 仁美 水下 泰之	3・4		輪講 [250名] 法学部3・4年次生、看護学科生優先
	330171	PBL306-30100	憲法訴訟	2	休講		3・4		隔年開講
	335202	PBL301-30100	租税法	2	秋	*伊藤 剛志	3・4		隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	335250	PBL302-30100	地方自治法	2	休講		3・4		[100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
	330335	CVL208-30100	債権法総論I(債権不履行、弁済、責任財産の保護)	2	春	小山 泰史	2		1年次生履修不可(注3)
	330336	CVL209-30100	債権法総論II(債権譲渡、相殺、多数当事者の債権債務関係)	2	秋	藤塔 章夫	2		1年次生履修不可(注3)
	332133	CVL204-30100	物権法	2	春	藤塔 章夫	2		1年次生履修不可
	332102	CVL203-30100	担保物権法	2	秋	小山 泰史	2		1年次生履修不可
	332203	CVL301-30100	親族法	2	春	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
	332303	CVL302-30100	相続法	2	秋	羽生 香織	3・4		1・2年次生履修不可
	311200	CVL303-30100	消費者法	2	秋	藤塔 章夫	3・4		隔年開講、1・2年次生履修不可
	332405	CML303-30100	会社法I	4	春	深澤 泰弘	3・4		[150名] 法曹コース生優先、法学部3・4年次生優先、法学部生優先、1年次生履修不可
	332406	CML304-30100	会社法II	4	秋	梅村 悠	3・4		
	356104	CML308-30100	手形・小切手法	2	春	土田 亮	3・4		
335305	CML305-30100	商取引法	2	秋	深澤 泰弘	3・4			
335401	CML306-30100	保険法	2	秋	梅村 悠	3・4		[150名] 法学部3・4年次生優先、法学部生優先	
335503	CML307-30100	海商法	2	秋	*清水 太郎	3・4		隔年開講	
332503	CPL302-30100	民事訴訟法I	4	春	安西 明子	3・4			
335604	CPL303-30100	民事訴訟法II	2	秋	田頭 章一	3・4		[注1]	
335627	CPL301-30100	民事執行・保全法	2	秋	安西 明子	3・4			
336910	CPL304-30100	明産処理法	2	春	田頭 章一	3・4			
330501	CRL201-30100	刑法総論	4	春	伊藤 渉	2			
332680	CRL202-30100	刑法各論	4	秋	照沼 亮介	2		[80名] 法曹コース生優先、法律学科2年次生以上優先、法学部生優先	
332703	CRL302-30100	刑事訴訟法	4	秋	岩下 雅彦	3・4		1年次生履修不可	
335703	CRL203-30100	刑事学・刑事政策	2	秋	*金 光旭	2・3			
332801	SCL306-30100	労働法I	2	1Q	富水 晃一	3・4		(注3) [105名] 法学部生優先	
332802	SCL307-30100	労働法II	2	2Q	富水 晃一	3・4		(注3) [105名] 法学部生優先	
334621	SCL305-30100	社会保険法I	2	春	水野 仁美	3・4		(注3)	
334622	SCL308-30100	社会保険法II	2	秋	水野 仁美	3・4		(注3)	
339102	SCL301-30100	経済法	4	休講		3・4		[150名] 法学部3・4年次生優先	
335811	SCL302-30100	知的財産権法I	4	休講		3・4		隔年開講	
335813	SCL303-30100	知的財産権法II	2	休講		3・4		隔年開講 [200名] 法学部3・4年次生優先、法学部優先、1年次生履修不可(注3)	
335814	SCL311-30100	知的財産権法III	2	秋	駒田 泰士	3・4			
332910	INL201-30100	国際法総論	4	春	石井 由梨佳	2			
336311	INL202-30100	国際法各論	2	秋	張口 健夫	2			
336405	INL301-30100	国際紛争処理法	2	秋	石井 由梨佳	3・4			
345015	INL303-30100	国際組織法	2	休講		3・4		隔年開講(注3)	
336204	PIL314-30100	国際私法I	2	春	村上 愛	3・4			
336205	PIL315-30100	国際私法II	2	秋	村上 愛	3・4			
333308	PIL309-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES I	1	3Q	村上 愛	3・4		○ (注1) (注3) 因	
333309	PIL310-30e00	PRIVATE INTERNATIONAL LAW IN COMPARATIVE PERSPECTIVES II	1	4Q	村上 愛	3・4		○ (注1) (注3) 因	
361601	PIL311-30100	国際取引法総論	2	春	森下 哲朗	3・4		(注3)	
361602	PIL312-30100	国際取引法各論	2	休講		3・4		(注3)	
340100	INL302-30100	国際経済法	4	春	川瀬 剛志	2~4		1年次生履修不可	
333303	POL203-30100	比較政治論	2	春	*網谷 龍介	3・4			
337505	POL206-30100	時事政治論	2	休講		1・2		[20名] 隔年開講 法学部1・2年次生優先(注1)	
333306	POL305-30e00	COMPARATIVE POLITICS	2	秋	*NORTHY lake	3・4		○ 因	
311800	ENL301-30100	企業環境マネジメント論	2	春	*科野 宏典・他	3・4		輪講 [150名] 法学部3・4年次生優先	
342904	PBL305-30100	法律学特殊講義I(立法過程の実務と理論)	2	春	*梶山 知唯	3・4			
342914	CML301-30100	法律学特殊講義II(信託法)	2	秋	*中山 裕人	3・4			

342924	JUR205-30100	法律学特殊講義Ⅲ (法思想史)	2	秋	奥田 純一郎	1・2		
342941	CMJ302-30100	法律学特殊講義Ⅳ (金融商品取引法)	2	休講		3・4		隔年開講
342952	PBL307-30100	法律学特殊講義Ⅴ (公法)	2	春	小舟 賢	2~4		隔年開講 [100名] 法学部生優先、1年次生履修不可
345027	INL304-30100	国際関係法特殊講義 (外交と国際法)	2	春	*長谷部 潤	3・4		[30名] 法学部3・4年次生優先 (注3)
344808	POJ302-30100	国際関係法特殊講義 (日中関係の歴史と展望)	2	秋	*梅 志輝	3・4		[200名] 法学部3・4年次生優先
311300	ENL309-30100	環境法特殊講義 (環境訴訟の展開)	2	休講		3・4		輪講 隔年開講 (200名) 法学部3・4年次生優先
311427	ENL313-30100	環境問題特殊講義 (企業活動と環境法コンプライアンス)	2	春	*安達 宏之	3・4		隔年開講
390386	JUR204-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE I	2	春	*WOLFF Leon	2~4	○	国
390387	JUR206-30e00	JAPANESE LAW FROM A COMPARATIVE PERSPECTIVE II	2	秋	*WOLFF Leon	2~4	○	国
390310	INL306-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR I (HUMAN RIGHTS)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (M) 国
390311	INL307-30m00	INTERNATIONAL LAW SEMINAR II (HUMANITARIAN LAW)	2	秋	江藤 淳一	3・4		隔年開講 [30名] コースAQUILA登録者優先 (注1) (M) 国
333307	POJ308-30e00	INTERNATIONAL INSTITUTIONS AND WORLD ORDER	2	休講		3・4	○	[40名] 国
337503	POJ304-30e00	JAPANESE POLITICS IN GLOBAL PERSPECTIVES	2	秋	三浦 まり	3・4	○	国 [現代日本政治論] を履修済みであることが望ましい。
338010	POJ307-30e00	INTERNATIONAL POLITICAL ECONOMY	2	春	*杉之原 真子	3・4	○	国
390400	POJ306-30e00	HUMAN SECURITY AND DEVELOPMENT	2	秋	*TONESCU Magdalena	3・4	○	国
390350	PIJ304-30e00	CORPORATIONS	2	休講		2~4	○	国
390384	PIJ205-30e00	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL BUSINESS LAW	2	休講		2~4	○	国
390385	JUR203-30e00	INTRODUCTION TO THE COMMON LAW	2	休講		2~4	○	国
364010	CVL304-30100	民法特殊講義Ⅰ	2	秋	宮澤 俊昭	3・4		[100名] 1・2年次生履修不可 法学部生優先
364020	CVL302-30100	民法特殊講義Ⅱ	2	休講		3・4		[100名] 1・2年次生履修不可 法学部生優先
364210	CRI204-30100	刑法特殊講義Ⅰ	2	春	照野 亮介	1		
364220	CRI205-30100	刑法特殊講義Ⅱ	2	春	伊藤 渉	2・3		
364230	CRI206-30100	刑法特殊講義Ⅲ	2	秋	佐藤 結衣	2		
335710	INL207-30100	刑事司法概論	2	秋	岩下 雅亮	2		[100名] 法学部2年次生優先、法学部生優先
341730	ENL101-30100	時事環境法政策演習	2	秋	桑原 勇進	1		[20名] 法学部1年次生のみ履修可、地球環境法学科生優先 (注1)
348010	CMJ401-30100	高度専門演習Ⅰ (企業法の変容)	2	春	深澤 泰弘	3・4		[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348020	CMJ402-30100	高度専門演習Ⅱ (企業法とサステナビリティ)	2	春	梅村 悠	3・4		[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348030	POJ401-30100	高度専門演習Ⅲ (政治経済学)	2	秋	加藤 浩三	3・4		[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
348040	JUR401-30100	高度専門演習Ⅳ (生命倫理と法)	2	秋	奥田 純一郎	3・4		[20名] 1・2年次生履修不可 (注1)
320000	LAW206-30100	法実務入門	2	春	土田 亮	2		[25名] 法曹コース生優先 (注1)
337504	POJ205-30100	現代国際関係論	2	春	岡部 みどり	1・2		[30名] 法学部2年次生優先 (注1)
333200	LAW207-30100	文化芸術と法	2	休講		1~4		隔年開講 (800名) 法学部生優先
333310	LAW208-30m00	READINGS IN LAW	2	休講		2		(M) 国
330017	LAW204-30m00	BASIC SEMINAR (AQUILA)	2	春	東 史彦 *DOERING Henri	2		輪講 [30名] 法学部2年次生のみ履修可、コースAQUILA登録者優先、(M) 国 (注1)
349010	LAW410-30m00	SPECIALIZED SEMINAR I (LEGAL HISTORY)	2	休講		3・4		隔年開講 [30名] 1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先、(M) 国
349020	LAW411-30m00	SPECIALIZED SEMINAR II (FOREIGN LAW)	2	秋	松本 尚子	3・4		隔年開講 [30名] 1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先、(M) 国
349030	LAW412-30e00	SPECIALIZED SEMINAR III (AQUILA)	2	春	TREHEARNE A.D. COLIN	3・4	○	[30名] 1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先 国
349040	LAW413-30e00	SPECIALIZED SEMINAR IV (AQUILA)	2	秋	*DOERING Henri	3・4	○	[30名] 1・2年次生履修不可、コースAQUILA登録者優先 国
380002	JUR316-30100	法と経済学	2	春	*加賀見 一彰	3 (・4)		法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象 (注1) (注5)
380003	JUR317-30100	法社会学	2	秋	*太田 勝造	3 (・4)		法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象 (注1) (注5)
380001	SCL309-30100	スポーツ・エンタテインメント法	1	春集中	森下 哲朗・他	3 (・4)		法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象 (注1) (注5)
380004	SCL310-30100	金融法	2	秋	深澤 泰弘・他	3 (・4)		法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象 (注1) (注5)
380005	PIJ313-30e00	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	1	秋集中	森下 哲朗・他	3 (・4)	○	法科大学院との共同開講科目、法曹コース3年次生対象 (注1) (注5)

国…コースAQUILA認定対象科目

(M) …教材や授業中の使用言語のいずれかが、英語以外の言語 (日本語など) で行われる。

(注1) 他学部生履修不可。

(注2) 履修登録するクラスはMy Sophiaで周知するので確認すること。

(注3) 科目名の変更にもなる重複不可の科目があるため、「2.履修上の注意」を参照のこと。

(注4) 法曹コース生以外の希望者は「11.法解釈演習・基礎演習B・応用演習・必修演習A・B (法曹コース) について」の項を参照。

(注5) 法曹コース4年生 (早期卒業しない法曹コース登録生) 履修可。

海外短期研修科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 C群	N99219	SAC201-30e00	海外短期研修（西オーストラリア大学）	4	秋	国際関係法学科教員	1～3	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学で開講される事前事後指導を含む所定のプログラムを終了し、上記研修に参加して所定の成果を修めた場合には、上記科目の単位が付与される。

なお、上記科目は履修登録の必要はなく、学期・年間の最高履修限度にも算入されない。

(注2) 単位付与手続が翌年度におこなわれるため、2025年3月卒業予定者はプログラムには参加することができず、単位を取得することはできない。

(注3) 短期研修にかかる参加資格、申込期間等詳細については、履修要覧（ガイド・資料編）ーグローバル教育センター[海外短期研修]の項を参照したうえで、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。

The Graduate Institute of International and Development Studies (ジュネーブ国際・開発研究大学院)との3+2プログラム単位互換科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	外国語	備考
選択科目 C群			ジュネーブ国際・開発研究大学院との3+2プログラム	10	春	所属学科長	4	○	(注1) (注2) (注3)

(注1) 本学での学内選考とジュネーブ国際・開発研究大学院（以下GI）の選考を通過し、先方の大学院で単位修得した場合、本学では上記科目として単位認定をおこなう。

(注2) GIとの3+2プログラムは、計画的な履修が必要となるため、プログラムに参加を希望する場合は、学科長から事前に履修相談を受けること。

(注3) プログラムの詳細は、グローバル教育センターに確認すること。